

消防年報

平成18年(2006)版



島根県
出雲市消防本部
平成19年(2007)発刊

A
N
N
U
A
L
-
R
E
P
O
R
T

(表紙写真説明)

出雲大社本殿模型

[年代] 平安時代

[所蔵者] 出雲大社

[展示場所] 島根県立古代出雲歴史博物館（出雲大社東隣）
島根県出雲市大社町杵築東99番地 4号

10世紀に、「雲太」と呼ばれる高さ16丈(約48m)という日本一高大な本殿があったという学説に基づき造られた縮尺1/10の模型です。

中心の柱(心御柱)の直径は約3.6m、階段の長さは約109m、見上げると神話に記された「八雲立つ出雲」を象徴する美しい雲と光、天にそびえる高層の巨大神殿は実在したのでしょうか。

(写真及び資料提供：島根県立古代出雲歴史博物館)

は し が き

この年報は、当消防本部の消防現勢及び消防行政に関する諸般の事項を集録し、その実態を広く紹介するとともに、将来の消防行政の推進に資するため編集したものです。

なお、内容については、主に平成19年4月1日現在をもって収録しており、一部これによらないものについては、当該各表にそれぞれの年月日を記載しています。

平成19年(2007) 8月

出雲市消防本部



もくじ

●出雲市の概要

位置と地勢、位置図、管内図、面積・人口及び世帯数	1
消防本部・署の位置及び庁舎等の現況（構造・規模）	2

●沿 革

出雲市外4町広域消防組合の沿革	3
平田市消防本部の沿革	7
大社町消防本部の沿革	9
出雲市消防本部の沿革	11

総 務 編

●出雲市消防本部・消防署の組織及び機構

消防本部・消防署の組織及び機構	13
消防隊の編成	15

●平成18年(2006)中の主な行事

	16
--	----

●予 算

平成19年度(2007)出雲市消防本部当初予算	17
-------------------------	----

●職員の現況

職員の配置	19
職員の年齢・勤務年数	20

●消 防 力

消防職員の資格免許取得状況	21
消防相互応援協定状況	22

●広 報

広報実施状況	22
--------	----

●出雲消防音楽隊

音楽隊の概況	23
--------	----

予 防 編

防火クラブの現況	25
防火対象物数	27
一般予防関係事務処理件数	28
中高層建物の状況	29
危険物製造所等施設数	29
貯蔵取扱数量別危険物施設数	30
危険物関係事務処理件数	30
火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数	31

警 防 編

●火災統計

火災の概要	33
消防本部・本署・各署の出場状況	35
建物用途別損害状況	36
出火原因別火災件数・損害額	36
曜日・時間別火災発生状況	36

●救急統計

救急の概要	37
傷病者年齢区分別搬送人員	39
傷病程度別搬送人員	39
救急隊員の行った応急処置件数	40
救急隊員生涯教育実施状況	41
応急手当普及啓発活動状況	41

●救助統計

救助の概要	42
-------	----

●消防機械器具の現況

消防車両の配備	43
---------	----

特殊器具一覧表	44
---------	----

消防車両の装備【消防本部・出雲消防署本署】	45
-----------------------	----

【出雲消防署西部分署】	46
-------------	----

【出雲消防署南部分署】	46
-------------	----

【出雲消防署斐川出張所】	46
--------------	----

【平田消防署】	47
---------	----

【大社消防署】	47
---------	----

●管内の消防水利の状況

消防水利施設数	48
---------	----

指 令 編

●消防通信

消防通信施設状況【消防本部・出雲消防署】	51
----------------------	----

火災報知専用電話（119番）着信状況	53
--------------------	----

携帯電話（119番）着信状況	53
----------------	----

消防テレホンガイド利用状況	54
---------------	----

119番受信時の口頭指導実施状況	54
------------------	----

●気象状況

気温、湿度	55
-------	----

降雨量、風向風速、気象警報等発令状況	56
--------------------	----

消 防 団

●出雲市消防団の組織

組織図	59
階級別人員数、報酬（年額）、諸手当	60
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況	60
団員の職業別	60

●消防事務受託先（斐川町）

組織図	61
階級別人員数、報酬（年額）、諸手当	61
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況、職業別	62

出 雲 救 難 所

●出雲救難所の現況

組織図	65
救難所員の定数及び実員	66
救難所器具保有状況	66
過去3カ年の災害出動状況	67
所員勤続年数及び年齢	67

出雲市の概要

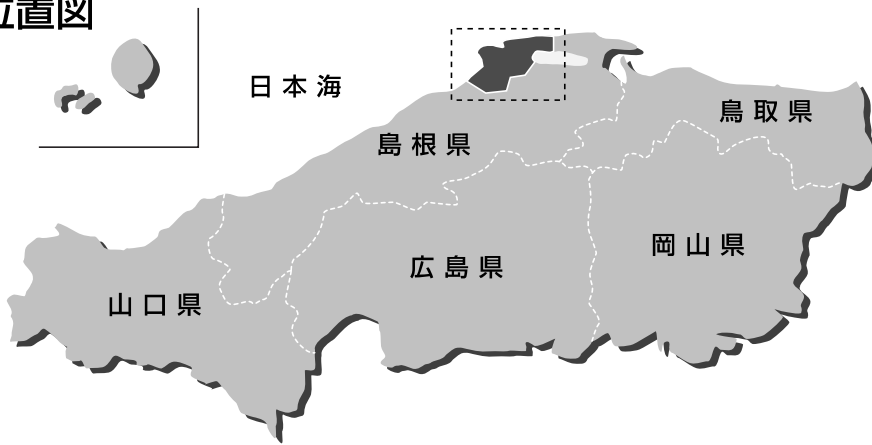
●位置と地勢

「出雲市」は、島根県東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。

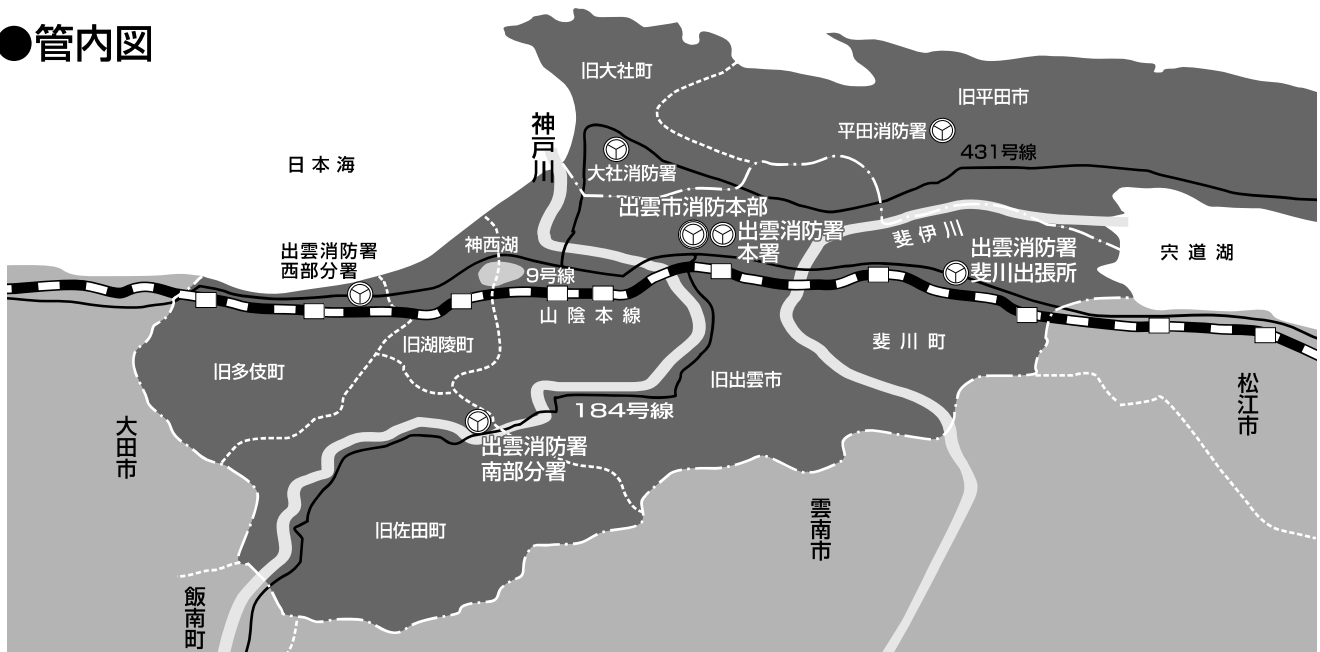
出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいます。

日本海に面する島根半島の北及び西岸はリヤス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有しています。

●位置図



●管内図



●面積・人口及び世帯数

市町別	区分	面積 (km ²)	全人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数
出雲市		543.4	148,520	71,289	77,231	49,241
斐川町		80.6	28,268	13,746	14,522	8,068
計		624	176,788	85,035	91,753	57,309

●消防本部・署の位置及び庁舎等の現況（構造・規模）

区分 所 属		所 在 地	庁 舎 の 構 造	摘 要
消 防 本 部		出雲市渡橋町 253番地1	敷地面積 5,984.17㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造（一部4階建） 延面積 3,788.13㎡ ○訓練棟 主塔 鉄筋コンクリート造 7階建 延面積 455.49㎡ 副塔 鉄骨造 3階建 延面積 213.30㎡ 設備棟 鉄筋コンクリート造平屋建 床面積 28.00㎡	H10. 3.20 竣工
出	本 署			
雲	西 部 分 署	出雲市多伎町 久村509番地	敷地面積 993.70㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延面積 286.24㎡	S 47. 3.31 竣工 S 58. 3. 5 増築 H 3. 9.20 増築 H 5.10. 5 増築 H15.10.30 増築
消	南 部 分 署	出雲市佐田町 反辺1747番地17	敷地面積 460.24㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延面積 262.97㎡ ○車庫（兼倉庫） 木造カラー鉄板瓦棒葺き平屋建 延面積 36.00㎡	H 7. 3.20 竣工 H11.10. 4 増築
防	署	簸川郡斐川町 大字莊原町2166番地1	敷地面積 1,183.78㎡ ○庁舎棟 鉄骨造 3階建 延面積 1,291.00㎡	H18.11. 1 竣工
平 田 消 防 署		出雲市平田町 951番地1	敷地面積 391.50㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造3階建（一部4階建） 延面積 888.75㎡	S 41. 1. 1 竣工
大 社 消 防 署		出雲市大社町 杵築南1395番地	敷地面積 442.00㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造 4階建 延面積 240.00㎡ ○車庫棟 鉄骨スレート造一部 2階建 延面積 331.10㎡	S 40. 5. 5 竣工 H11.10.20 竣工

沿 革

●出雲市外4町広域消防組合の沿革

昭和23年 (1948)	3月7日	消防組織法 (昭和22年法律第226号) が施行され、自治体消防が発足
昭和23年 (1948)	4月26日	出雲市消防本部設置 (出雲市今市町743番地2) 職員定数4名
昭和25年 (1950)	9月1日	常設消防組織となる (職員新規採用10名、職員定数14名)
昭和30年 (1955)	3月22日	簸川郡朝山村、稗原村及び上津村が出雲市に編入合併する
昭和30年 (1955)	5月13日	出雲市消防本部が元出雲市警察署庁舎 (新町興正町) へ移転
昭和31年 (1956)	4月1日	簸川郡神門村、神西村、長浜村が出雲市に編入合併
昭和33年 (1958)	5月1日	出雲市今市町109番地1に出雲市役所庁舎が完成し、新庁舎に消防本部が移転
昭和43年 (1968)	12月20日	出雲市消防庁舎 (出雲市今市町106番地1市庁舎隣接) 新築竣工
昭和46年 (1971)	2月4日	消防本部、消防署の義務設置の政令指定について自治省消防庁へ陳情書提出
昭和46年 (1971)	3月8日	島根県知事へ、出雲市外4町広域消防組合の設立について申請
昭和46年 (1971)	3月15日	島根県知事より、出雲市外4町広域消防組合の設立許可
昭和46年 (1971)	6月1日	出雲市外4町広域消防組合準備事務のため事務局設置 自治省告示第110号により、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令 (昭和46年政令第170号) 本則に基づき次のとおり指定される。 斐川町、佐田町、多伎町、湖陵町
昭和47年 (1972)	3月31日	出雲市消防本部発足24年の歴史に幕を閉じる。
昭和47年 (1972)	4月1日	出雲市外4町広域消防組合消防本部出雲消防署設置 (出雲市今市町106番地1) 職員定数82名
昭和47年 (1972)	4月1日	出雲市外4町広域消防組合消防職員採用 出雲市派遣職員46名、組合採用職員36名、計82名
昭和47年 (1972)	5月1日	東部分署と西部分署へそれぞれ消防職員11名、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台を配置し消防、救急業務を開始
昭和48年 (1973)	5月25日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車 (3B型) の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和48年 (1973)	10月17日	小型動力ポンプ積載車 (軽貨物自動車) を佐田出張所へ配備
昭和49年 (1974)	5月1日	小型動力ポンプ積載車 (普通貨物自動車) を佐田出張所へ更新配備
昭和50年 (1975)	2月6日	水槽付消防ポンプ自動車 (2t水槽付) を購入、本署へ配備
昭和50年 (1975)	6月24日	財団法人日本消防協会より、消防広報車 (広報装置一式装備) の寄贈を受け本署へ配備
昭和50年 (1975)	12月1日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、消防ポンプ自動車 (A-2級・ジープ車) を購入、本署へ配備
昭和52年 (1977)	3月23日	出雲ライオンズクラブ (会長 奥井誓雄) より、査察車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和53年 (1978)	3月27日	㈱日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車 (1.6t水槽付) の寄贈を受け本署へ配備

昭和53年 (1978)	4月27日	小型動力ポンプ積載車 (ジープ車) を佐田出張所へ更新配備
昭和53年 (1978)	11月27日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和53年 (1978)	12月8日	化学消防ポンプ自動車 (3型) を購入、本署へ配備
昭和53年 (1978)	12月26日	指令車を購入、本署へ配備
昭和54年 (1979)	2月7日	(社)日本損害保険協会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和54年 (1979)	4月1日	職員新規採用4名、職員定数86名
昭和54年 (1979)	9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、広報車の寄贈を受け本署へ配備
昭和54年 (1979)	11月16日	消防防災施設等整備費補助事業により30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を購入、本署へ配備
昭和56年 (1981)	2月6日	(社)日本損害保険協会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け佐田出張所へ配備
昭和56年 (1981)	4月6日	救急自動車 (2 B型) を購入、本署へ配備
昭和56年 (1981)	11月10日	(財)日本防火協会より、広報車 (広報装置・映写装置一式装備) の寄贈を受け本署へ配備
昭和57年 (1982)	5月30日	出雲市防火協会より、広報車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和57年 (1982)	9月10日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車 (A-2級・1.5t水槽付) を購入、本署へ配備
昭和57年 (1982)	9月20日	(財)日本消防協会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け本署へ配備
昭和58年 (1983)	8月8日	消防ポンプ自動車 (A-2級) を購入、西部分署へ配備
昭和59年 (1984)	8月31日	消防ポンプ自動車 (A-2級・電動ホースカー装備) を購入、本署へ配備
昭和59年 (1984)	9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、水防防災車の寄贈を受け本署へ配備
昭和59年 (1984)	11月30日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け本署へ配備
昭和60年 (1985)	8月8日	(財)日本消防協会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和60年 (1985)	11月14日	救助工作車 (バスケット・照明塔付) を購入、本署へ配備
昭和61年 (1986)	10月1日	消防ポンプ自動車 (A-2級・ジープ車・ホースカー装備) を購入、本署へ配備
昭和61年 (1986)	10月1日	大型救急自動車 (22人乗) を購入、本署へ配備
昭和61年 (1986)	10月10日 ～12日	防災展『防災フェア'86』を開催 (出雲地区防火協会と共催) 於、デパートパラオ
昭和62年 (1987)	5月30日	小型ポンプ積載車 (軽キャブバン・4WD) を購入、東部分署へ配備
昭和62年 (1987)	8月6日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車 (A-2級・1.5t水槽付) の寄贈を受け本署へ配備
昭和62年 (1987)	10月8日	査察車 (査察1号車) を購入、予防課へ配備
昭和62年 (1987)	10月17日	防災講演会 [(財)出雲地区防火協会・(社)日本損害保険協会共催] を開催、講師 日本気象協会主任技師 宮沢清治氏
昭和63年 (1988)	1月8日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和63年 (1988)	4月1日	救急自動車 (2 B型・4WD) を購入、佐田出張所へ配備
昭和63年 (1988)	10月8日	母と子の防火大会開催 [(財)出雲地区防火協会・(社)日本防火協会共催] 出雲市体育館に幼年消防、婦人防火クラブ員等1,000名参加

昭和63年 (1988)	11月16日	消防ポンプ自動車 (A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備) を購入、佐田出張所へ配備
平成元年 (1989)	9月27日	広報車 (広報2号車) を購入、本署へ配備
平成元年 (1989)	10月16日	出雲遊技業防犯協力会より、救急自動車 (2B型・4WD) の寄贈を受け本署へ配備
平成元年 (1989)	12月22日	(株)船場、(株)装備より、救急自動車 (2B型) の寄贈を受け本署へ配備
平成2年 (1990)	1月20日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車 (A-2級・1.5t水槽付) を購入、本署へ配備
平成2年 (1990)	4月19日	出雲市今市町代官町火災10周年にあたり、出雲市消防団との合同による大火想定訓練を実施する。
平成2年 (1990)	4月26日	小型ポンプ積載車 (軽キャブバン・4WD) を購入、西部分署へ配備
平成2年 (1990)	5月8日	査察車 (査察2号車) を購入、予防課へ配備
平成2年 (1990)	9月19日	(財)日本防火協会より、斐川町商工会婦人防火クラブへ広報車 (防火号) の寄贈を受け本署へ配備
平成2年 (1990)	11月27日	指令車 (指令1号車) を購入、本署へ配備
平成3年 (1991)	4月1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成3年 (1991)	8月21日	(財)日本消防協会より、救急車 (2B型) の寄贈を受け本署へ配備
平成3年 (1991)	9月11日	指令車 (指令2号車) を購入、本署へ配備
平成3年 (1991)	10月1日	佐田町黒山山頂に、消防無線中継所を開設
平成4年 (1992)	4月1日	職員新規採用9名 (職員退職に伴う補充1名を含む)、計94名となる。 職員定数112名
平成4年 (1992)	6月18日	出雲市外4町広域消防組合発足20周年記念式典挙行
平成5年 (1993)	4月1日	職員新規採用13名 (職員退職に伴う補充1名を含む)、計106名となる。
平成5年 (1993)	4月1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成5年 (1993)	5月31日	消防組合初めての救急救命士1名誕生
平成5年 (1993)	12月15日	消防防災施設等整備費補助事業により、化学消防ポンプ自動車を購入 本署へ配備
平成6年 (1994)	4月1日	職員新規採用8名 (職員退職に伴う補充1名を含む) 職員定数113名
平成6年 (1994)	4月1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣開始
平成7年 (1995)	1月17日	阪神・淡路大震災による火災鎮圧のため、神戸市にタンク車1台、職員5名の応援隊を派遣
平成7年 (1995)	1月25日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車 (CD-1型・電動ホースカー装備) を購入、本署へ配備
平成7年 (1995)	3月11日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車 (I-A型・1.5t水槽付) を購入、本署へ配備
平成7年 (1995)	3月20日	出雲消防署佐田出張所庁舎竣工
平成7年 (1995)	3月21日	救急自動車 (2B型・防振ストレッチャー装備) を東部分署へ配備
平成7年 (1995)	4月1日	出雲消防署佐田出張所を出雲消防署南部分署に名称変更し、災害出場区域に出雲市乙立町を加え、業務開始
平成7年 (1995)	4月1日	定数条例の改正により職員定数119名となる。職員新規採用3名 (職員退職に伴う補充2名を含む)、計114名となる。
平成7年 (1995)	9月22日	防災2号車を本署へ更新配備
平成7年 (1995)	9月25日	査察1号車を消防本部へ更新配備

平成7年(1995)	10月1日	職員新規採用3名、計117名となる
平成7年(1995)	10月26日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・4WD・電動ホースカー装備)を西部分署へ更新配備
平成8年(1996)	1月31日	積載車を出雲消防署南部分署へ増強配備
平成8年(1996)	3月15日	消防防災施設等整備費補助事業により、高規格救急自動車(日産パラメディック)を出雲消防署本署へ配備
平成8年(1996)	4月1日	職員新規採用6名(職員退職に伴う補充4名含む)、計119名となる
平成8年(1996)	9月21日 ~22日	『防災フェア'96いずも』開催
平成8年(1996)	12月1日	高規格救急自動車運用開始
平成8年(1996)	12月6日	救急自動車(2B型・9項目対応)を購入、南部分署へ配備
平成9年(1997)	9月2日	「出雲消防音楽隊」結成
平成10年(1998)	2月3日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
平成10年(1998)	3月20日	出雲市消防本部・出雲消防署新庁舎竣工(出雲市渡橋町253番地1)
平成10年(1998)	3月27日	消防緊急通信指令施設Ⅱ型完工
平成10年(1998)	3月30日	消防用無線通信設備完工
		財日本消防協会より、救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け本署へ配備
平成10年(1998)	4月1日	職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名含む)、計120名(条例定数119名・条例定数外1名)となる うち、当消防組合に初めて女性消防吏員1名採用 消防庁舎移転に伴う消防本部、消防署の組織を改める 新庁舎へ移転、業務を開始(出雲市渡橋町253番地1)
平成10年(1998)	4月18日 ~19日	
平成10年(1998)	4月27日	消防庁舎竣工式が挙行される
平成10年(1998)	9月24日	社日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(I-A型1.5t水槽付)の寄贈を受け東部分署へ配備
平成11年(1999)	10月20日	消防防災施設等整備費補助事業により、はしご付消防ポンプ自動車(30㍓級)を本署へ更新配備
平成11年(1999)	12月20日	積載車を出雲消防署東部分署へ更新配備
平成12年(2000)	4月1日	職員新規採用2名、計122名となる。職員定数121名(定数外1名)
平成12年(2000)	4月1日	財日本消防協会へ職員1名を研修派遣
平成12年(2000)	5月21日	防災イベント開催(於:ビッグハート出雲)
平成12年(2000)	8月24日	消防防災施設等整備費補助事業により消防ポンプ自動車(A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備)を購入、南部分署へ更新配備
平成12年(2000)	9月28日	消防防災施設等整備費補助事業により救助工作車(Ⅱ型・4WD)を購入本署へ配備
平成12年(2000)	12月4日	救急ワークステーション運用開始
平成13年(2001)	3月27日	社日本損害保険協会より、高規格救急自動車(トヨタハイメディック)1台の寄贈を受け本署へ配備
平成13年(2001)	9月20日	マイクロバスを本署へ更新配備
平成14年(2002)	3月18日	財日本消防協会より赤バイ3台の寄贈を受け本署へ配備

平成14年 (2002)	4月1日	(勸)日本消防協会へ職員1名を派遣
平成14年 (2002)	7月1日	広報車を消防本部へ更新配備
平成14年 (2002)	7月24日	第25回全国消防職員意見発表(国立京都国際会館)へ出場 最優秀賞を受賞
平成14年 (2002)	10月18日	出雲市外4町広域消防組合発足30周年記念式典
平成14年 (2002)	11月27日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメ ディック)を東部分署へ更新配備
平成14年 (2002)	12月27日	出雲地区合併協議会消防防災専門部会及び分科会設置
平成15年 (2003)	1月22日	防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を購入 本署へ配備
平成15年 (2003)	2月1日	出雲消防イントラネット事業運用開始並びにホームページ開設
平成15年 (2003)	4月1日	出雲消防救急救命センターを設置し消防署の組織を改める
平成15年 (2003)	7月30日	積載車を出雲消防署西部分署へ更新配備
平成15年 (2003)	11月21日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメ ディック)を西部分署へ更新配備
平成16年 (2004)	11月8日	指令1号車を消防本部へ更新配備
平成16年 (2004)	12月1日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(ニッサンパラ メディック)を南部分署へ更新配備
平成17年 (2005)	3月21日	2市4町の合併により、出雲市外4町広域消防組合解散となる

●平田市消防本部の沿革

昭和23年 (1948)	3月7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和26年 (1951)	4月1日	平田町、灘分村、国富村、西田村、鱈淵村、久多美村、檜山村、東村の 1町7村が合併して平田町となる。
昭和26年 (1951)	11月30日	平田町消防本部設置(職員定数4名)
昭和27年 (1952)	10月	平田町消防署設置 平田町初の消防ポンプ自動車を購入配備
昭和29年 (1954)	10月1日	一畑電気鉄道(株)より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和30年 (1955)	1月1日	平田町、北浜村及び佐香村の1町2村が合併して平田市となる。
昭和30年 (1955)	3月	平田市初の消防専用無線電話機を購入、消防署に基地局、消防車に 移動局を設置
昭和35年 (1960)	4月1日	伊野村を編入する。
昭和35年 (1960)	9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和38年 (1963)	11月9日	消防指揮車1台を購入配備
昭和41年 (1966)	4月11日	消防庁舎竣工
昭和41年 (1966)	5月26日	(株)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和41年 (1966)	11月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和43年 (1968)	9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和44年 (1969)	9月1日	救急自動車を購入配備 救急業務開始
昭和45年 (1970)	10月1日	指揮連絡車を購入配備
昭和46年 (1971)	6月15日	消防署勤務体制が当直制から交替勤務制となる。 職員数32名(内兼務職員9名)

昭和52年 (1977)	7月5日	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和55年 (1980)	11月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
昭和56年 (1981)	4月1日	兼務制度から専任制度となる。職員数27名
昭和56年 (1981)	5月7日	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和56年 (1981)	5月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
昭和57年 (1982)	2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
昭和58年 (1983)	10月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和59年 (1984)	10月	消防通信指令装置を購入、通信体制の万全を図る。
昭和61年 (1986)	4月23日	防火広報車を購入配備
平成元年 (1989)	8月30日	第11回島根県総合防災訓練が平田市役所前及び宍道湖公園にて実施され、消防関係者外91機関 4,400人が参加した。
平成2年 (1990)	1月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
平成2年 (1990)	2月	救急自動車を購入配備
平成2年 (1990)	8月	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
平成2年 (1990)	10月	資機材搬送車を購入配備
平成4年 (1992)	2月	救助工作車、救助資機材を購入配備
平成4年 (1992)	9月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
平成4年 (1992)	12月	職員の定数条例の改正により職員定数36名となる。
平成5年 (1993)	1月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
平成6年 (1994)	4月1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成7年 (1995)	1月17日	阪神・淡路大震災により救助工作車1台職員4名の応援隊を派遣
平成8年 (1996)	6月5日	平田市立病院医師、看護師、消防職員3名体制で救急隊を1月間派遣 第18回島根県総合防災訓練、小津町密集地火災消火訓練が河下工業団地及び小津町地内で実施され、消防関係者外112機関 5,300人が参加
平成9年 (1997)	3月	消防用無線中継施設を摺木山に設置
平成9年 (1997)	8月	布勢地区において総合防災訓練を実施
平成9年 (1997)	11月	平田市消防本部初めての救急救命士1名誕生
平成10年 (1998)	4月1日	職員の定数条例の改正により職員定数39名となる。
平成10年 (1998)	11月	高規格救急車、高度救命資機材を購入配備
平成10年 (1998)	12月	消防ポンプ自動車 (CD-1 B型) を購入配備
平成11年 (1999)	4月1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成12年 (2000)	2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車 (2 B型) の寄贈を受け配備
平成12年 (2000)	3月	資機材搬送車を購入配備
平成12年 (2000)	4月1日	職員の定数条例の改正により職員定数40名となる。
平成12年 (2000)	8月	第52回島根県消防大会、第44回島根県消防操法大会を平田市で開催
平成13年 (2001)	5月	水槽付消防ポンプ自動車 (II型) を購入配備
平成13年 (2001)	10月	非常順次通報装置を購入設置
平成16年 (2004)	8月10日	宝くじ協会より消火通報訓練指導車の寄贈を受け配備

●大社町消防本部の沿革

昭和23年 (1948)	3月7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和26年 (1951)	4月1日	大社町、荒木村、遥堪村、日御碕村、鶴鷺村が合併し大社町となる。
昭和27年 (1952)	7月1日	消防団常備制度実施
昭和27年 (1952)	12月15日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部へ配備
昭和30年 (1955)	3月7日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部に配備
昭和37年 (1962)	9月1日	大社町消防本部規則を制定し、大社町消防本部を設置
昭和37年 (1962)	12月1日	大社町消防署を設置
昭和37年 (1962)	12月26日	超短波無線局を開設(消防署に基地局、消防車に移動局を設置)
昭和39年 (1964)	4月1日	大社町消防本部条例定数が7名(内兼務職員2名)
昭和39年 (1964)	12月1日	消防本部及び消防署の職員12名をもって新しい消防体制を確立
昭和41年 (1966)	4月1日	大社町消防本部・消防署庁舎新築
昭和42年 (1967)	4月1日	消防職員定数23名(内兼務職員12名)
昭和42年 (1967)	10月6日	消防ポンプ自動車1台を購入、消防署へ更新配備
昭和43年 (1968)	11月18日	(社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和44年 (1969)	9月1日	救急業務を任意実施で開始
昭和50年 (1975)	11月1日	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、消防署へ配備
昭和51年 (1976)	2月20日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和55年 (1980)	9月30日	消防ポンプ自動車(BD-1型)を購入、消防署へ配備
昭和55年 (1980)	10月5日	大社ライオンズクラブから指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和56年 (1981)	11月9日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け消防署へ更新配備
昭和57年 (1982)	7月1日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署に更新配備
昭和59年 (1984)	5月31日	消防職員定数24名
昭和62年 (1987)	7月1日	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年 (1988)	1月16日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年 (1988)	4月14日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成2年 (1990)	8月18日	ショッピングセンター『エル』において第一回ふれあい消防展を開催
平成3年 (1991)	2月25日	大社ロータリークラブより指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
平成4年 (1992)	4月11日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成4年 (1992)	11月1日	大社町消防フェスティバルを開催
平成5年 (1993)	10月29日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成7年 (1995)	1月17日	阪神・淡路大震災による島根県消防隊として神戸市にタンク車1台、職員3名の応援隊を派遣
平成7年 (1995)	3月5日	第1回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成8年 (1996)	1月25日	高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)を購入、消防署へ配備
平成8年 (1996)	3月3日	第2回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成8年 (1996)	4月1日	島根県防災航空隊に職員1名派遣
平成8年 (1996)	11月7日	大社町消防本部第1号の救急救命士誕生

平成8年(1996)	11月10日	第3回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成9年(1997)	3月19日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設助成事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成11年(1999)	10月22日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成12年(2000)	12月19日	救助工作車(Ⅱ型、救助資機材含)を購入、消防署へ配備
平成13年(2001)	3月5日	(財)日本消防協会より、指令車の寄贈を受け消防署へ配備
平成13年(2001)	8月9日	出雲大社教より高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成15年(2003)	11月2日	第4回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)

●出雲市消防本部の沿革

- | | |
|--------------------|---|
| 平成17年（2005） 3月22日 | 出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町及び大社町の合併により、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部及び大社町消防本部が統合され出雲市消防本部が発足する。
条例定数、190名、1本部3署2分署1出張所とする。
斐川町の消防事務については受託方式とする。 |
| 平成17年（2005） 12月20日 | 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、平田消防署へ更新配備 |
| 平成18年（2006） 3月22日 | 摺木消防無線中継所局舎竣工 |
| 平成18年（2006） 10月27日 | 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、出雲消防署本署へ更新配備 |
| 平成18年（2006） 10月27日 | 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、出雲消防署斐川出張所へ新規配備（消防事務受託先：斐川町事業） |
| 平成18年（2006） 11月1日 | 通信指令システムを一元化し、高機能消防通信指令システムを運用開始 |
| 平成18年（2006） 11月14日 | 出雲消防署斐川出張所庁舎竣工式（消防事務受託先：斐川町事業） |

消防本部・署配置図



総務編



平成19年 出雲市消防出初式

組織及び機構

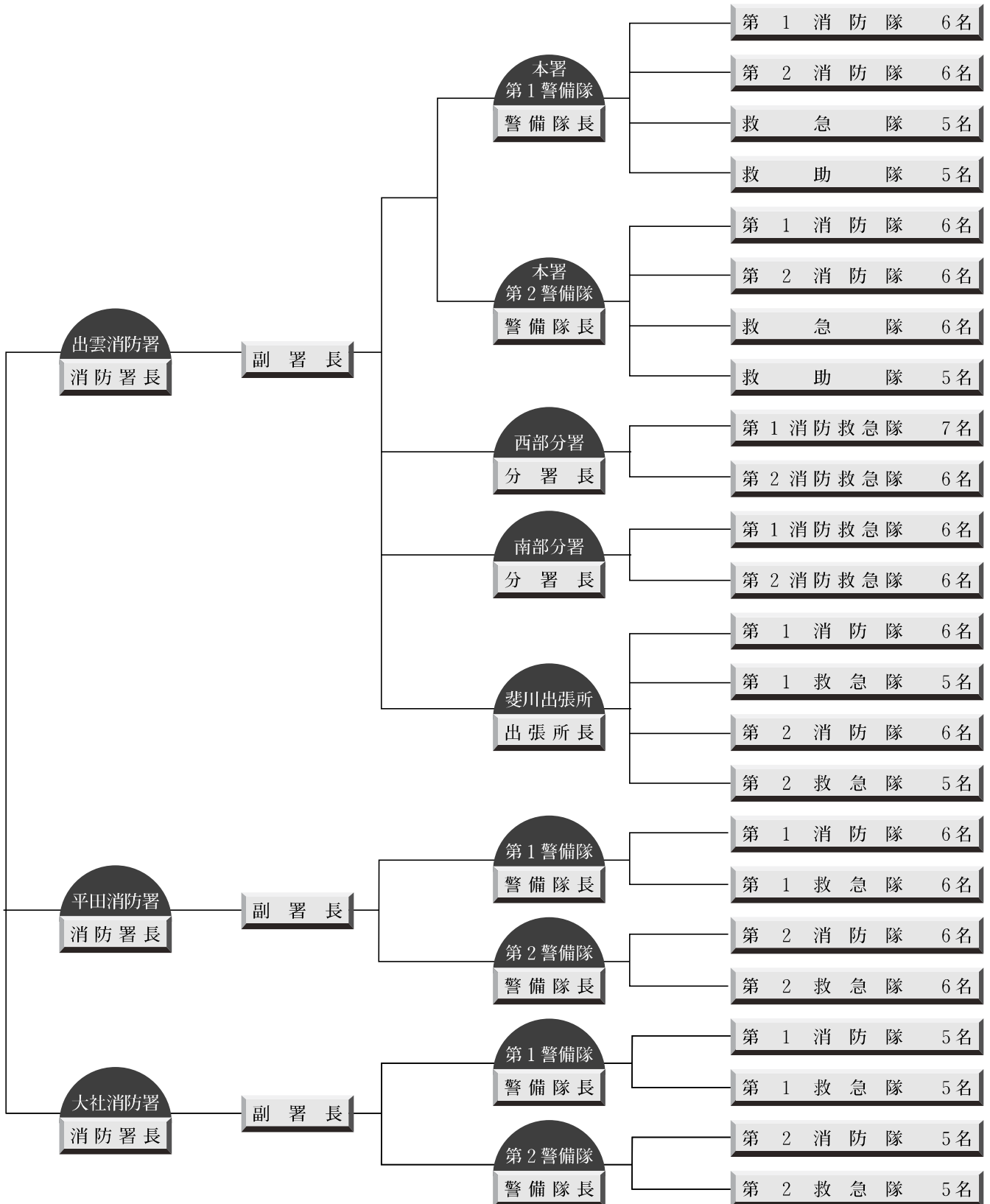
●出雲市消防本部・消防署の組織及び機構 【消防本部の組織及び機構】



【消防署の組織及び機構】



【消防隊の編成】



平成18年(2006)
中の主な行事

- 1月5日 仕事始め
- 1月8日 出雲市消防出初式
- 2月20日 消防広報「ひまわり」第2号発行
- 3月1日～7日 春季火災予防運動
- 5月23日 出雲地区防災安全協会発足年記念式典
- 6月22日 第30回島根県消防救助技術大会参加（島根県消防学校）
- 6月27日～28日 防火管理に関する講習会（甲種）
- 7月25日 第35回中国地区消防救助技術指導会参加（広島県消防学校）
- 7月26日 平成18年度一日少年消防体験学習（出雲消防署）
- 8月5日 第58回島根県消防大会（雲南市）
- 8月6日 第50回島根県消防操法大会（雲南市）
- 8月20日 消防広報「ひまわり」第3号発行
- 8月23日 第1回防火管理再講習（甲種）
- 9月1日 出雲市防災訓練（大社町）
- 9月15日 平成18年度幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会
- 10月13日 第14回消火技術訓練大会（一の谷公園）
- 10月18日～19日 中四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練参加（倉敷市）
- 10月19日 第20回全国消防操法大会出場（兵庫県三木市）出雲消防団
高松分団優勝
- 10月26日～27日 防火管理に関する講習会（甲種）
- 11月1日 高機能消防通信指令システム運用開始
- 11月7日 山陰自動車道斐川インター開通に伴う合同訓練
- 11月9日～15日 秋季火災予防運動
- 11月10日 第84回島根県消防長会定例会（出雲市）
- 11月14日 出雲消防署斐川出張所庁舎竣工式（消防事務委託先斐川町事業）
- 11月30日 航空機火災消火救難訓練参加（出雲空港）
- 12月29日 仕事納め

予 算

平成19年度（2007）出雲市消防本部当初予算

（単位 千円）

項 目	節 目	予 算 額
消防費		1,992,031
常備消防費		1,559,821
	給料	703,337
	職員手当	523,695
	共済費	152,245
	賃金	4,193
	報償費	1,023
	旅費	7,394
	交際費	45
	需用費	81,622
	役務費	33,068
	委託料	31,194
	使用料及び賃借料	6,812
	工事請負費	0
	原材料費	81
	備品購入費	2,766
	負担金補助及び交付金	10,390
	公課費	1,956
非常備消防費		193,690
	報酬	75,688
	災害補償費	10
	報償費	37,670
	旅費	4,905
	交際費	70
	需用費	19,048
	役務費	5,137
	委託料	198
	使用料及び賃借費	797
	備品購入費	6,436
	負担金補助及び交付金	42,244
	補償補てん及び賠償金	10
	公課費	1,477

消防施設費		191,851
	旅費	39
	需用費	2,050
	役務費	484
	委託料	499
	工事請負費	77,249
	原材料費	350
	備品購入費	68,600
	負担金補助及び交付金	42,168
	積立金	73
	公課費	339
防災費		31,669
	報酬	3,000
	報償費	1,610
	需用費	4,555
	役務費	204
	委託料	5,700
	使用料及び賃借料	468
	備品購入費	4,732
	負担金補助及び交付金	11,355
	積立金	45
	防災施設費	
委託料		2,300
工事請負費		12,700
		1,992,031

市総予算との比較

(単位 千円)

区分 年次別	市総予算額	消防費予算額	市総予算と消防費との比
平成19年度	67,220,000	1,992,031	2.96

職員の状況

●職員の配置

所 属	区 分	総 計	消 防 吏 員							消 防 事 務 吏 員	
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長		消 防 士
総 計		195	1	2	6	32	43	38	24	46	3
消 防 本 部	計	42 (1)	1	2 (1)	3	10	9	7	1	6	3
	消 防 長	1	1								
	次 長	2		2							
	消 防 総 務 課	8 (1)		(1)		2	5	1			
	予 防 課	9			1	3	1	1		3	
	警 防 課	7			1	2		1			3
	出 雲 消 防 救 急 救 命 セ ン タ ー	2				1	1				
	指 令 課	13			1	2	2	4	1	3	
出 雲 消 防 署	計	98 (1)		(1)	1	12	21	22	18	24	0
	署 長	(1)		(1)							
	副 署 長	1			1						
	本 署 第 1 警 備 隊	23				3	5	5	5	5	
	本 署 第 2 警 備 隊	24				2	7	6	4	5	
	西 部 分 署	14				2	3	4	3	2	
	南 部 分 署	13				2	3	3	2	3	
斐 川 出 張 所	23				3	3	4	4	9		
平 田 消 防 署	計	30			1	7	5	6	2	9	0
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	2				1	1				
	第 1 警 備 隊	13				2	2	3	1	5	
第 2 警 備 隊	13				3	2	3	1	4		
大 社 消 防 署	計	25 (1)			1	3 (1)	8	3	3	7	0
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	1 (1)					1				
	第 1 警 備 隊	12				1	4	1	2	4	
第 2 警 備 隊	10				1	3	2	1	3		

()内は兼務

●職員の年齢

階級 年齢	計	消 正 防 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 士 防 長	消 防 副 士 長	消防士
計	192	1	2	6	32	43	38	24	46
18歳～20歳	4								4
21歳～25歳	25								25
26歳～30歳	29							12	17
31歳～35歳	50					6	33	11	
36歳～40歳	19					13	5	1	
41歳～45歳	12					12			
46歳～50歳	15				9	6			
51歳～55歳	29	1	1	3	18	6			
56歳以上	9		1	3	5				

(平均年齢 37.1才)

●職員の勤務年数

在職 年数 区分	計	5年 未 満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35年 以上
職 員	192	30	23	51	22	11	18	7	30

消 防 力

●消防職員の資格免許取得状況

区	分	取得人員	区	分	取得人員
自動車運転免許	大型特殊	16	移動式クレーン		90
	大型二種	3	玉掛け技能		82
	大型一種	165	毒物取扱者		1
	普通二種	0	潜水士		5
	普通一種	191	小型船舶操縦士		32
	けん引	5	救急救命士		39
	自動二輪	104	救急Ⅱ課程修了者		98
整備	二級ガソリン整備士	1	救急標準課程修了者		46
	二級ディーゼル整備士	1	電気工事士		3
	三級シャーシ整備士	2	車両系建設機械運転技能者		8
特殊無線技士	1級	8	可搬消防ポンプ等整備資格者		7
	2級	103	足場組立作業主任者		7
	3級	4	特定化学物質等作業主任者		2
アマチュア無線技士		21	ガス溶接講習修了		29
危険物取扱者	甲種	4	アーク溶接講習修了		10
	乙種	55	研削といし講習修了		1
	丙種	86	第二種酸素欠乏危険作業主任者		21
消防設備士	甲種	1	介護福祉士		1
	乙種	76	高圧ガス製造責任者（丙種化学）		9
第一種衛生管理者		1			

●消防相互応援協定状況

協定先の市町村、機関、事業所等の名称	協定の内容	締結年月日	締結方法
島根県下市町村及び消防にかか一部事務組合	相互応援協定 (大規模火災及び特殊災害)	昭和52年 4月 1日	文書
島根県内の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	島根県防災ヘリコプター応援協定	平成 6年 3月28日	文書
島根県出雲空港管理事務所	出雲空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	平成17年 3月22日	文書
島根県内消防本部	救急業務に関する相互応援協定	平成18年 1月 1日	文書
境海上保安部	境海上保安部と出雲市消防本部との消防業務協定	平成18年 3月 1日	文書
山陰自動車道及び松江自動車道消防相互応援協定	高速道における相互応援協定	平成18年11月25日	文書



●広報実施状況

平成18年中 (2006)

区 分	実 施 回 数
有・無線放送による広報	128回
消防広報ひまわり発刊	2回 (100,000枚)
市町広報誌による広報	11回
防火指導会	86回 (5,534人)
防火映画会	10回 (446人)
巡回広報	129回
署見学	36回 (1,656人)
計	402回 (7,636人)

出雲消防 音楽隊

●音楽隊の概況

【結成年月日】 平成9年(1997)9月2日

【結成の目的】

平成10年自治体消防50周年の節目の年にあたり、新しい防災の拠点として最新鋭の機器を導入した消防庁舎の移転新築を機会としてとらえ、演奏によって消防広報を高め、住民と密着した防火防災意識の啓発を促し『消防職員の志気と情操をより高揚すること』を目的に結成しました。

【隊員編成】

隊長1名 副隊長1名 楽長1名 副楽長2名 隊員26名

【楽器編成】

ピ ッ コ ロ	1
フ ル ー ト	2
B ♭ クラリネット	6
アルトサククス	2
テナーサククス	1
バリトンサククス	1
ト ラ ン ペ ッ ト	5

フレンチホルン	3
ユーフォニウム	2
チ ュ ー バ	1
ト ロ ン ボ ン	2
バストロンボン	1
ス ー ザ ホ ン	2
ス ネ ア ド ラ ム	2

バ ス ド ラ ム	1
コンサートバスドラム	1
シ ン バ ル	3
グ ロ ッ ケ ン	1
ハーモニディレクター	
その他 音響設備	

【主な活動】平成18年(2006)中

- 消防出初式
- 出雲の夏の七夕まつりin中心商店街
- 出雲市出雲消防団消防操法大会開会式
- 2006夢フェスタinいずも
- 21世紀出雲産業見本市2006
- 出雲市役所前ツリー点灯式



出雲市消防出初式 於:出雲ドーム

予 防 編



少年消防一日体験学習



消火技術訓練大会



幼年少年女性防火クラブ
指導者研修会

●防火クラブの現況

	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結 成 年	人 員
幼 年 消 防 ク ラ ブ	平田保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 平 田 町	昭和56年	176
	たちばな保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 津 町	昭和59年	194
	出東保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 三 分 市	昭和59年	103
	西園保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 西 園 町	昭和59年	69
	ハマナス保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 湖 陵 町 二 部	昭和59年	103
	きんろう保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 津 新 崎 町	昭和59年	99
	荘原保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 上 庄 原	昭和59年	101
	出西保育園幼年消防クラブ	斐 川 町 大 字 出 西	昭和59年	102
	あすなる保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 白 枝 町	昭和60年	188
	おやま保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 小 山 町	昭和60年	115
	神門保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 芦 渡 町	昭和60年	98
	中央保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 今 市 町	昭和60年	110
	なかの保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 中 野 町	昭和60年	135
	えんや保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 上 塩 冶 町	昭和60年	87
	外園保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 外 園 町	昭和60年	45
	おおつか保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 塚 町	昭和60年	167
	浜山保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 浜 町	昭和60年	94
	中部保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 東 福 町	昭和60年	102
	北部保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 坂 浦 町	昭和60年	32
	わにぶち保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 河 下 町	昭和60年	40
	さとがた保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 里 方 町	昭和61年	100
	出雲乳児保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 今 市 町	昭和61年	102
	大社保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 杵 築 南	昭和61年	79
	こぐま保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 北 荒 木	昭和61年	165
	みなみ保育所幼年消防クラブ	出 雲 市 平 田 町	昭和61年	137
	平田幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 西 平 田 町	昭和61年	189
	東幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 園 町	昭和61年	97
	荒茅保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 荒 茅 町	平成3年	69
	多伎幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 多 伎 町 小 田	平成5年	40
	こどもランド幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 修 理 面	平成7年	38
	大社幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 杵 築 南	平成7年	55
	光幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 灘 分 町	平成11年	107
	出雲すみれ保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 塩 冶 町	平成13年	34
	荒木幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 北 荒 木	平成13年	78
	遙堪幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 遙 堪	平成13年	37
	日御碕幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 日 御 碕	平成13年	4
	なかよし保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 遙 堪	平成13年	16
	鵜鷺幼稚園幼年消防クラブ	出 雲 市 大 社 町 鷺 浦	平成13年	3
	ひかり保育園幼年消防クラブ	出 雲 市 塩 冶 町	平成16年	34
計 39団体 3,544名				

	クラブ名称	所在地	結成年	人員
少年消防クラブ	鵜鷺少年消防クラブ	出雲市大社町鵜浦	大正12年	9
	猪目少年消防クラブ	出雲市猪目町	昭和34年	4
	美保少年消防クラブ	出雲市塩津町	昭和35年	2
	上八幡少年消防クラブ	出雲市松寄下町	昭和50年	5
	小山3D分団少年消防クラブ	出雲市小山町	昭和52年	39
	塩津町少年消防クラブ	出雲市塩津町	昭和56年	9
	直江親子会少年消防クラブ	斐川町大字直江町	昭和58年	208
	灘分地区少年消防クラブ	出雲市灘分町	昭和58年	226
	天神団地少年消防クラブ	出雲市天神町	昭和63年	51
	西野小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字富村	平成11年	84
	庄原小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字神庭	平成11年	36
	中部小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字直江町	平成11年	48
	出東小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字三分市	平成13年	13
	朝倉少年防火クラブ	出雲市大津朝倉	平成18年	30
計 14団体 764名				
	クラブ名称	所在地	結成年	人員
女性防火クラブ	日御碕婦人消防隊	出雲市大社町日御碕	昭和34年	23
	塩津町女性消防隊	出雲市塩津町	昭和36年	10
	坂浦町女性消防隊	出雲市坂浦町	昭和44年	8
	三津町女性消防隊	出雲市三津町	昭和46年	10
	玉昌寺婦人防火クラブ	斐川町大字直江町	昭和55年	110
	三ノ谷・松枝女性消防隊	出雲市野郷町	昭和56年	9
	美保町女性消防隊	出雲市美保町	昭和56年	10
	斐川町商工会女性部婦人防火クラブ	斐川町大字莊原町	昭和58年	91
	釜浦町女性消防隊	出雲市釜浦町	昭和58年	9
	鵜峠婦人防火クラブ	出雲市大社町鵜峠	昭和61年	23
	JAいずも四絡女性部婦人防火クラブ	出雲市小山町	昭和63年	180
	小伊津町女性消防隊	出雲市小伊津町	平成元年	9
	西地合女性消防隊	出雲市地合町	平成5年	27
	東地合女性消防隊	出雲市地合町	平成7年	25
	天神団地女性防火クラブ	出雲市天神町	平成17年	59
計 15団体 603名				
合計 68団体 4,911名				

●防火対象物数

市 町 別		令 別 表 項 目 別	総 数	出 雲 市	斐 川 町
合 計					
			5,957	5,049	908
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	5	5	
	ロ	公会堂・集会場	98	86	12
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブの類	2	2	
	ロ	遊技場・ダンスホール	23	21	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等	1	1	
3	イ	待合・料理店の類	33	32	1
	ロ	飲食店	169	147	22
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	318	273	45
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	128	101	27
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,428	1,289	139
6	イ	病院・診療所・助産所	157	136	21
	ロ	老人・救護・児童等社会福祉施設	201	176	25
	ハ	幼稚園・盲・聾・養護学校	42	37	5
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	203	185	18
8		図書館・博物館・美術館	23	20	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0		
	ロ	イ以外の公衆浴場	4	4	
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	2	1	1
11		神社・寺院・教会の類	52	49	3
12	イ	工場・作業場	996	762	234
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1	1	
13	イ	自動車車庫・駐車場	82	67	15
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	2		2
14		倉庫	811	616	195
15		前各項に該当しない事業場	710	610	100
16	イ	令別表1～4.5イ.6.9イの用途に供する部分のある複合用途対象物	322	304	18
	ロ	イ以外の複合用途対象物	133	115	18
17		文化財・重要文化財	7	5	2
18		50メートル以上のアーケード	4	4	

●一般予防関係事務処理件数

平成18年(2006)中

	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出 書																			
	合 計	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火器	屋外消火設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	消防用水	排煙設備	連結送水管設備	非常コンセント
計	251	18	3	0	1	0	4	3	0	93	6	11	17	9	18	65	0	0	2	1
出雲市	211	15	3		1		2	2		78	6	10	16	7	16	53			1	1
斐川町	40	3					2	1		15		1	1	2	2	12			1	

平成18年(2006)中

	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書																						
	合 計	消火器具	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報器具	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	避難設備(標識)	消防用水	排煙設備	連結送水管設備	非常コンセント
計	415	95	19	7	0	1	0	6	3	0	145	3	15	0	12	22	19	61	4	0	0	2	1
出雲市	334	82	12	6				3	1		115	3	15		11	13	17	52	2			1	1
斐川町	81	13	7	1		1		3	2		30				1	9	2	9	2			1	

平成18年(2006)中

	そ の 他 届 出 書																		
	合 計	防火管理者選解任届	消防計画	設備等点検結果報告書	防火対象物使用開始届	消防計画に基づく避難訓練の指導	貯蔵届	圧縮アセチレンガス等	変電・発電・蓄電池設置届	ボイラー等設置届	煙火打ち上げ届	水素ガス気球設置届	催しもの開催届	火災とまぎらわしい煙又は火煙を発生する行為	禁止行為の解除承認	少量危険物貯蔵・取扱届	少量危険物貯蔵・取扱廃止届	ネオン管灯設備設置届	指定可燃物貯蔵・取扱
計	3,066	253	380	1,235	194	383	47	61	26	105	0	11	208	65	36	58	0	4	0
出雲市	2,562	225	337	1,031	171	323	43	48	21	98		11	112	64	23	51		4	
斐川町	504	28	43	204	23	60	4	13	5	7			96	1	13	7			

●中高層建物の状況

用途別 回数	4項 店舗	5項イ 旅館 ホテル	5項ロ 共同 住宅	6項イ 病院	7項 学校	12項イ 工場	15項 その他 の事業	16項 複合 用途	その他	計
3階	14	10	167	11	58	26	89	85	44	504
4階	1	8	109	4	23	5	24	20	9	203
5階		3	19	1	2		6	6	3	40
6階		1	9	1	2	2	3	1	1	20
7階		1	3	2			4	4		14
8～9階			5	1	1	3		1		11
10階以上		4	10	1						15
計	15	27	322	21	86	36	126	117	57	807

●危険物製造所等施設数

製造所等の別		市 町 別	合 計	出 雲 市	斐 川 町
合 計			783	659	124
製 造 所			3	3	
貯 蔵 所	小 計		494	417	77
	屋 内 貯 蔵 所		71	58	13
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		101	90	11
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		9	7	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		211	175	36
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		7	7	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		85	72	13
	屋 外 貯 蔵 所		10	8	2
取 扱 所	小 計		286	239	47
	給 油 取 扱 所		171	143	28
	第 一 種 販 売 取 扱 所		0		
	第 二 種 販 売 取 扱 所		0		
	移 送 取 扱 所		9	9	
一 般 取 扱 所			106	87	19
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 所			1,790	1,439	351

●貯蔵取扱数量別危険物施設数

製造所等の別		最大数量が 指定数量の 計	5 以 下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1000倍以下	1000倍を 超えるもの
合	計	783	364	148	149	48	22	26	26	0
製	造 所	3		1	2					
貯 蔵 所	小 計	494	284	97	85	21	1	1	5	
	屋内貯蔵所	71	40	14	13	4				
	屋外タンク貯蔵所	101	25	30	40	5		1		
	屋内タンク貯蔵所	9	7	2						
	地下タンク貯蔵所	211	127	44	25	9	1		5	
	簡易タンク貯蔵所	7	7							
	移動タンク貯蔵所	85	75	2	5	3				
屋外貯蔵所	10	3	5	2						
取 扱 所	小 計	286	80	50	62	27	21	25	21	
	給油取扱所	171	18	22	42	24	19	25	21	
	第一種販売取扱所	0								
	第二種販売取扱所	0								
	移送取扱所	9	4	4	1					
一般取扱所	106	58	24	19	3	2				

●危険物関係事務処理件数

平成18年度(2006)中

区 分		所 属 別	合 計	出 雲 市	斐 川 町
許 可	設 置		16	16	
	変 更		38	22	16
可	常置場所の 変 更	他許可行政庁に転出	0		
		他許可行政庁から転入	4	4	
完 成 検 査	設 置		8	8	
	変 更		34	20	14
	他許可行政庁から転入		4	4	
廃 止 届			22	20	2
	完成検査前に設置許可の取消処分		0		
完 成 検 査 前 検 査 (タンク 検 査)			0		
	休 止 届		3	3	
	変 更 届		38	28	10
	譲 渡 引 渡 届		7	6	1
	仮 使 用 承 認		29	14	15
	仮 貯 蔵 承 認		1	1	
	仮 取 扱 承 認		4	1	3
	保 安 監 督 者 選 解 任 届		25	21	4

●火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数

1. 火薬類取締法関係

平成18年度（2006）中

	区 分	件 数		計
		出雲市	斐川町	
許	譲 渡 許 可	5		5
	譲 受 許 可	1	1	2
	譲 受 ・ 消 費 許 可	29	2	31
	消 費 許 可（煙火）	22	2	24
可	消 費 許 可			0
	廃 業 許 可			0
	計	57	5	62

2. 高圧ガス保安法関係

平成18年度（2006）中

	区 分	件 数		計
		出雲市	斐川町	
許可・完成・保安検査	製 造（変 更）許 可	4	2	9
	貯 蔵 所 設 置（変 更）許 可	1		
	充てん設備（変 更）許 可	2		
	製 造 施 設 完 成 ・ 保 安 検 査	7	3	10
	貯 蔵 所 完 成 検 査	1		5
充てん設備完成・保安検査	4			
新規・変更等届	高圧ガス製造事業（軽微変更・変更）届	4	6	21
	高圧ガス貯蔵所設置（軽微変更・変更）届			
	特定高圧ガス消費（変更）届			
	危 害 予 防（変 更）届	2		
	高圧ガス販売事業（ガス種変更）届	1		
	高圧ガス製造販売貯蔵消費承継届	3	2	
	高圧ガス製造販売貯蔵消費（休止）廃止届	1		
	事 故 届			
充てん設備軽微変更届（液石法）	2			
	計	32	13	45

3. 液化石油ガス法関係

平成18年（2006）中

処 理 内 容	件 数		計
	出雲市	斐川町	
液化石油ガス設備工事届	9	1	10

警防編



平成18年7月豪雨に伴う水害



建物火災



水難訓練
(ライフセイバーとの合同訓練)

火災統計

●火災の概要

区分 月別	火災件数(件)							焼損棟数(棟)				焼損面積(m ²)(a)		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	床建面積	林野
H14年(2002)	77	47	5	5	0	0	20	74	23	6	22	23	3,211	19
H15年(2003)	80	47	0	12	0	0	21	87	33	5	29	20	5,092	3
H16年(2004)	82	44	8	4	0	0	26	66	24	3	16	23	3,597	64
H17年(2005)	64	30	5	6	0	0	23	40	13	3	14	10	1,876	43
H18年(2006)	59	32	2	5	0	0	20	43	14	2	10	17	2,085	5
1月	5	4					1	4	1	1	1	1	247	
2月	4	2					2	6	1		3	2	403	
3月	5	2					3	2			1	1		
4月	9	3	1	1			4	4	3			1	300	3
5月	2	2						4	3			1	320	
6月	4	1		1			2	1				1		
7月	5	4		1				8	5		2	1	539	
8月	8	4					4	4			1	3	7	
9月	8	5		1			2	5	1	1	2	1	269	
10月	6	3	1				2	3				3		2
11月	2	1		1				1				1		
12月	1	1						1				1		
出雲市	51	27	2	4			18	38	13	2	9	14	1,854	5
斐川町	8	5		1			2	5	1		1	3	231	

平成18年(2006)中

死傷者(人)		り災世帯(世帯)				り 災 人 員	損 害 額 (千 円)									
死 者	負 傷 者	計	全 損	半 損	小 損		合 計	建 物			林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
								小 計	建 築 物	収 容 物						
7	13	51	15	5	31	162	181,708	168,259	111,979	56,280	10	12,866	0	0	573	0
3	15	53	17	7	29	144	389,684	380,431	275,946	104,485	0	8,208	0	0	1,045	0
2	19	43	14	3	26	107	181,015	176,841	136,011	40,830	0	2,370	0	0	1,804	0
3	6	20	8	2	10	62	99,192	98,339	78,741	19,598	0	773	0	0	80	0
7	5	24	8	2	14	78	125,752	123,885	94,241	29,644	0	1,704	0	0	163	0
	1	3		2	1	6	27,377	27,377	21,411	5,966						
1	1	6	1		5	22	41,157	40,209	32,338	7,871		928			20	
3		0					4,381	4,372	66	4,306					9	
1	1	3	2		1	9	5,133	5,116	4,653	463		13			4	
1		1	1			3	8,861	8,782	5,168	3,614		79				
	1	0					67	61	61			6				
		6	3		3	18	25,515	25,062	22,273	2,789		333			120	
		0					168	158	112	46					10	
		3	1		2	12	12,724	12,723	8,156	4,567		1				
		1			1	6	8	8		8						
1		0					355	11		11		344				
	1	1			1	2	6	6	3	3						
6	5	23	7	2	14	73	116,861	115,327	88,530	26,797		1,371			163	
1		1	1			5	8,891	8,558	5,711	2,847		333				

●消防本部・本署・各署の出場状況

平成18年（2006）中

	回数人員	本部・本署	西部分署	南部分署	斐川出張所	平田消防署	大社消防署	計
火 災	出場回数	25 (45)	6 (10)	3 (3)	8 (17)	12 (13)	5 (10)	59 (98)
	人 員	489	46	17	68	101	54	775
救 急	出場回数	2,328	419	225	653	729	511	4,865
	人 員	7,020	1,261	674	1,962	2,199	1,541	14,657
救 助	出場回数	79	12	8	22	25	14	160
	人 員	725	98	51	177	227	140	1,418
風 水 害	出場回数	17		4	3	22	5	51
	人 員	59		8	14	48	15	144
演習・訓練	出場回数	841	238	334	256	356	240	2,265
	人 員	4,059	1,013	1,249	1,079	1,604	1,266	10,270
広 報 指 導	出場回数	241	30	12	36	40	58	417
	人 員	549	111	38	148	120	176	1,142
警 防 調 査	出場回数	349	84	115	109	149	47	853
	人 員	1,175	329	358	416	514	208	3,000
原 因 調 査	出場回数	25	6	3	8	12	5	59
	人 員	93	26	17	34	52	28	250
特 別 警 戒	出場回数	26	15	15	24	38	6	124
	人 員	46	17	26	82	96	19	286
遭 難	出場回数	30		9		4	14	57
	人 員	160		43		21	65	289
予 防 査 察	出場回数	167	36	21	68	43	40	375
	人 員	387	133	68	250	124	101	1,063
そ の 他	出場回数	90	12	6	30	30	20	188
	人 員	543	47	18	91	114	105	918
誤報・いたずら	出場回数	7	1		2	1	1	12
	人 員	107	11		9	7	6	140
計	出場回数	4,225	859	755	1,219	1,461	966	9,485
	人 員	15,412	3,092	2,567	4,330	5,227	3,724	34,352

※火災欄の()は、一件の火災に複数の署所が出場した場合の件数

●建物用途別損害状況 平成18年(2006)中

区分 用途別	出火件数	焼損棟数	り災世帯	り災人員	建物焼損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)
住 宅	11	19	17	56	1,506	71,378
併用住宅	4	4	2	7	98	20,520
小売店舗	3	3			138	6,530
飲食店舗	3	3	1	1	42	3,731
共同住宅	2	2	1	5		1,165
作業場	2	4	2	8	165	18,678
置 場	2	3	1	1	129	1,721
洗たく店	1	1				8
工 場	1	1				
倉 庫	1	1			7	76
納 屋	1	1				3
保 育 園	1	1				75
計	32	43	24	78	2,085	123,885

●出火原因別火災件数・損害額 平成18年(2006)中

区分 用途別	出火件数	出雲市	斐川町	損害額 (千円)
火 入 れ	6	6		
放火の疑い	6	5	1	5,069
こ ん ろ	5	5		1,727
放 火	5	4	1	7
た ば こ	4	2	2	8,400
た き 火	4	4		13
焼 却 炉	1	1		
ス ト ー プ	1	1		6
排 気 管	1	1		6
電 気 装 置	1		1	8
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	1		
そ の 他	9	8	1	6,144
不 明	15	13	2	104,372
計	59	51	8	125,752

●曜日別・時間別火災発生状況

平成18年(2006)中

時 間	曜 日	日	月	火	水	木	金	土	日時分 不明	合 計
0 ~ 2		1					1			2
2 ~ 4			1							1
4 ~ 6		1	1							2
6 ~ 8			1	3			1	1		6
8 ~ 10								1		1
10 ~ 12			1	1	1		1	1		5
12 ~ 14		1		2						3
14 ~ 16			2	5	1		1	1		10
16 ~ 18		3	2	1		2	3	1		12
18 ~ 20								3		3
20 ~ 22		1			1	1	1			4
22 ~ 24		1	2		2	1				6
時 分 不 明							1	1		2
日 時 分 不 明									2	2
計		8	10	12	5	4	9	9	2	59

救急統計

●救急の概要

区分 月別	出場件数	搬送人員	救急			
			火災	自然災害	水難	交通
H14年(2002)	4,215	4,143	12	1	6	811
H15年(2003)	4,673	4,582	12	0	8	757
H16年(2004)	4,695	4,501	14	0	6	729
H17年(2005)	4,868	4,752	4	0	13	745
H18年(2006)	4,865	4,650	7	0	8	686
1月	403	389				53
2月	405	379	1		4	41
3月	429	398			1	41
4月	391	373	1			50
5月	372	347	1		1	53
6月	346	337	1			57
7月	397	381	1			67
8月	405	390	1		2	58
9月	357	339				49
10月	471	450				62
11月	435	422				80
12月	454	445	1			75
出雲市	4,124	3,871	6		8	548
斐川町	736	774	1			135
管外	5	5				3

平成18年(2006)中

事 故 種 別 (件数)							出場件数 一日平均	搬送人員 一日平均
労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他		
52	38	506	20	68	2,374	327	11.55	11.35
75	62	526	18	76	2,725	414	12.80	12.55
65	73	540	27	64	2,717	460	12.86	12.33
61	69	568	13	66	2,879	450	13.34	13.02
37	58	587	26	107	2,967	382	13.29	12.70
	2	47	5	4	257	35	13.00	12.55
		47		6	269	37	14.46	13.07
4	3	52	2	22	265	39	13.84	12.84
5	7	39		13	243	33	13.03	12.43
	6	35	2	6	247	21	12.00	11.19
5	9	48	2	10	189	25	11.53	11.23
2	4	55	3	13	223	29	12.81	12.29
5	5	52		5	252	25	13.06	12.58
7	8	52		6	202	33	11.90	11.30
4	9	52	5	6	297	36	15.19	14.52
3	3	59	3	4	253	30	14.50	14.07
2	2	49	4	12	270	39	14.65	14.35
31	52	509	26	88	2,555	301	11.27	10.58
6	6	78		19	411	80	2.01	2.11
					1	1	0.01	0.01

●傷病者年齢区分別搬送人員

平成18年（2006）中

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	新生児 (生後28日以内)										1	
乳幼児 (生後29日以上満7歳未満)				22			36			145	9	212
少年 (満7歳以上満18歳未満)				80		31	25	1	3	70	1	211
成人 (満18歳以上満65歳未満)	3		3	474	29	25	128	19	57	876	106	1,720
老人 (満65歳以上)	1		3	169	7	1	359	2	13	1,723	226	2,504
計	4	0	6	745	36	57	548	22	73	2,815	344	4,650

●傷病程度別搬送人員

平成18年（2006）中

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	比率 (%)
	死亡			4	9	1		5		18	57		
重症				26	1		35	1	8	284	65	420	9.0%
中等症	4		2	174	21	15	226	5	39	1,166	215	1,867	40.2%
軽症				536	13	42	282	16	8	1,307	63	2,267	48.8%
その他										1		1	0.0%
計	4	0	6	745	36	57	548	22	73	2,815	344	4,650	100.0%

●救急隊員の行った応急処置件数

平成18年（2006）中

事故種別 応急処置	合計	急病	交通	一般負傷	その他
応急措置対象人員	4,600	2,796	726	542	536
止血	83	10	23	38	12
固定	925	53	555	230	87
人工呼吸	101	85	5	6	5
心臓マッサージ	3	2		1	
※うち自動	0				
心肺蘇生	180	117	14	19	30
※うち自動	2	2			
酸素吸入	2,065	1,541	143	119	262
気道確保	397	302	21	26	48
※経鼻エアウェイ	55	41	2	4	8
※咽頭鏡・鉗子等	71	44	4	16	7
※コンピ्यूーブ	130	92	5	12	21
保温	201	141	36	24	
被覆	238	17	89	111	21
在宅療法継続	58	19		1	38
※①化学療法の点滴	2	2			
※②人工肛門等の外瘻	5	5			
※①②以外の措置	14	13		1	
ショックパンプ	1	1			
除細動	21	17	1	1	2
静脈路確保	125	89	10	9	17
その他の応急措置	1,786	1,380	58	142	206
血圧測定	4,182	2,565	651	485	481
聴診器による聴取	1,582	1,070	254	114	144
血中酸素飽和度測定	4,367	2,680	689	502	496
心電図	2,186	1,757	74	116	239
※うち伝送	0				
気管挿管	7	5			2
合計	18,501	11,851	2,623	1,944	2,090

○※印欄（うち数）は合計に計上しない。

○一人に複数の応急処置を実施することがある為、合計と応急処置対象数とは一致しない。

●救急隊員生涯教育実施状況（ワークステーション）

平成18年（2006）中

年 別	件数等	年間実施週数	研修隊員総数	出 場 件 数	うち医師同乗件数	※研修期間
平成16年以前		99	270	385	160	5日間(休日を除く 月曜日から金曜日)
平成17年		37	50	157	46	
平成18年		27	71	44	44	午前8時30分～ 午後5時15分
計		163	391	586	250	

(注) 救急隊員生涯教育は、平成12年12月に発足し、出雲地区救急業務連絡協議会構成4消防本部から3名の救急隊員を救急指定病院に派遣し、救急隊員の生涯教育を実施するとともに、重症度の高い救急事案については医師同乗のうえ現場出場することにより、救急隊員のレベルアップと、プレホスピタルケア（病院前）からホスピタルケア（病院）への連続性のある医療の充実を目指し、救命率の向上を図ることを目的として行っています。

●応急手当普及啓発活動状況

(1) 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

平成18年（2006）中

年 別	普通救命講習		上級救命講習		応急手当普及員		その他の講習		計	
	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成16年以前	633	14,439	29	646	11	223	976	43,551	1,649	58,859
平成17年	79	1,695	4	95	0	0	146	4,675	229	6,465
平成18年	152	3,522	6	138	2	49	133	4,061	293	7,770
計	864	19,656	39	879	13	272	1,255	52,287	2,171	73,094

(2) 応急手当指導員講習修了者

平成18年（2006）中

年 別	区分	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	計
平成16年以前		176			176
平成17年		12			12
平成18年		4			4
計		192	0	0	192

(注) 講習Ⅰ：救急救命士又は救急隊員、消防機関在職中に救急隊員の資格を有していたもので8時間の講習を終了したもの。

(注) 講習Ⅱ：上記以外の消防職員（応急手当の普及業務に関し、消防職員と同等以上の知識及び技能を有すると署長が認めたもの）又は消防職員であった者で、24時間の講習を終了したもの。

(注) 講習Ⅲ：応急手当普及員の資格を有する者で、16時間の講習を終了したもの。

救助統計

●救助の概要

年 別		H14年 (2002)	H15年 (2003)	H16年 (2004)	H17年 (2005)	H18年 (2006)
件数・種別等						
出 場 件 数		133	132	140	173	160
活 動 件 数		45	43	52	59	65
救 助 人 員		54	53	52	69	216
災害種別 (件数)	火 災	42	42	46	31	36
	交 通 事 故	63	63	57	88	71
	水 難 事 故	1	1	6	10	12
	風水害等自然災害		1			8
	機械による事故	4	4	2	4	
	建物等による事故	3	2	1	1	3
	ガス及び酸欠事故		1			
	爆 発 事 故					
その他の事故	20	18	28	39	30	

交通事故救助活動



住民救出活動（平成18年7月豪雨）

消防機械 器具の現況

●消防車両の配備

車種 \ 所属	計	消防本部 出雲消防署 (本署)	西分 部署	南分 部署	斐川 出張所	平田 消防署	大社 消防署
計	60	26	3	4	4	13	10
消防ポンプ自動車	8	2	1	1		2	2
水槽付消防ポンプ自動車	5	2			1	1	1
化学消防ポンプ自動車	1	1					
はしご自動車	1	1					
救助工作車	4	1			1	1	1
小型ポンプ積載車	4		1	1	1		1
緊急消防自動二輪車	3	3					
高規格救急車	11	3	1	1	2	2	2
救急自動車	3	1		1		1	
指令車	5	2				1	2
広報車・査察車	6	3				2	1
水防防災車	2	1				1	
マイクロバス	1	1					
消火・通報訓練指導車	1					1	
その他の車両	5	4				1	

●特殊器具一覧表

機 器 区 分		数量	機 器 区 分		数量
救 助 用 器 具	かぎ付梯子	12	隊員保護器具	空気呼吸器（8型）	72
	二連梯子	11		酸素呼吸器（10型）	10
	三連梯子	9		簡易呼吸器	3
	折りたたみ梯子	5		防毒マスク	32
	空気式救助マット	5		耐電衣	10
	救命索発射銃	12		耐電ズボン	10
	緩降機	4		耐電手袋	25
	マット式空気ジャッキ	10		耐電長靴	10
	油圧電動ポンプ	1		耐熱服	7
	油圧エンジンポンプ	3		陽圧式化学防護服	3
	油圧フートポンプ	5		携帯警報機	10
	油圧ハンドポンプ	2		防塵マスク	165
油圧スプレッダー	4	防塵メガネ	163		
油圧カッター	4	消火器具	高・低発泡器	9	
油圧ペダルカッター	3		ピックアップ式泡ノズル	10	
油圧プランジャーラム	4		ジェットシューター	74	
油圧コンピッサー	5		林野火災用マルチジョイント	5	
スパカッター	5		小型動力ポンプ	8	
エンジンカッター	9		組み立て式水槽	7	
電動カッター	1	可搬式放水銃	2		
ガス溶断器	4	測定器	複合ガス測定器	7	
空気鋸	5		可燃性ガス測定器	2	
チェーンソー	17		酸素濃度測定器	1	
ハンマードリル	2		有毒ガス測定器	1	
可搬ウインチ	9		放射線測定器	1	
チェンバーホイスト	1	救 急 器 具	酸素吸入器	31	
発電発電機	21		電池式吸引機	28	
削岩機	4		スクープストレッチャー	26	
バスケット型担架	5		防振ストレッチャー	12	
送排風機	2		喉頭鏡鉗子セット	32	
救助用三脚	4		耐振動血圧計	24	
ストライカー	5		患者監視モニター	22	
山岳救助用ウインチ	1		自動人工呼吸器	20	
マンホール救助器具	3		除細動器	27	
救助用工具セット	6		自動心臓マッサージ器	19	
簡易画像探索機	1		ショックパンツ	31	
水難救助器具	救命胴衣		118	KED（救出器具）	26
	救命浮環	40	心電図伝送装置	22	
	救命ボート	7	バックボード	34	
	救命外機	3	携帯心電計	22	
	水中投光器	3	在宅医療処置用セット	7	
			多目的副子	25	

●消防車両の装備

【消防本部・出雲消防署】（本署）

区分 車両名	メーカー名	型式（年式）	馬力及 放水能力	無線 呼出名称	局 称
1号車（ポンプ車）	いすゞ	KC-NKR71GN （H10年式）	130PS 2,282ℓ/min	いずも	1
2号車（ポンプ車）	いすゞ	U-NKR66N改 （H7年式）	130PS 2,110ℓ/min	いずも	2
3号車（タンク車）	三菱ふそう	U-FK681EW改 （H7年式）	210PS 2,620ℓ/min	いずも	3
4号車（タンク車）	日産	KK-LK26A改 （H15年式）	225PS 2,160ℓ/min	いずも	4
化学車	三菱ふそう	U-FM618H改 化Ⅲ型（H5年式）	210PS 2,600ℓ/min	いずも	かがく
梯子車	三菱ふそう	KC-FU519NY改 35ℓ（H11年式）	355PS	いずも	はしご
救助工作1号車	日野	KK-CX1JGDA改 （H12年式）	220PS （4WD）	いずも	こうさく1
救急1号車（高規格救急車）	トヨタ	GE-VCH32S （H12年式）	180PS	いずも	きゅうきゅう1
救急2号車（高規格救急車）	トヨタ	CBF-TRH226S （H18年式）	150PS	いずも	きゅうきゅう2
救急3号車	トヨタ	T-RZH132S （H元年式）	100PS	いずも	きゅうきゅう3
救急5号車（高規格救急車）	日産	KC-APR71LV改 （H8年式）	140PS	いずも	きゅうきゅう5
指令1号車	トヨタ	TC-VCH28S （H16年式）	180PS （4WD）	いずも	しれい1
指令2号車	三菱	E-C12W改 （H3年式）	85PS	いずも	しれい2
緊急消防自動二輪車（赤バイ3台）	ヤマハ	BA-DGO8J （H13年式）	20PS		
広報1号車	トヨタ	T-RZH112V改 （H2年式）	92PS	いずも	こうほう1
広報2号車	トヨタ	GK-KR52V （H17年式）	82PS		
総務1号車	日産	GF-HC35 （H14年式）	155PS	いずも	そうむ1
総務2号車	スバル	V-KW3 （H10年式）	42PS		
査察2号車	トヨタ	DAA-NHW20 （H16年式）	エンジン 76PS モーター 68PS		
防災1号車	日野	KK-RX4JFEA （H13年式）	175PS	いずも	ぼうさい1
防災2号車	日産	KC-P8F23改 （H7年式）	85PS （4WD）	いずも	ぼうさい2
警防2号車	三菱	E-CB2W （H7年式）	91PS		

【出雲消防署】（西部分署）

区分 車両名	メーカー名	型式（年式）	馬力及 放水能力	無線 局呼出 名称
消防車（ポンプ車）	三菱	KC-FG538C改 （H7年式）	130PS 2,110ℓ/min（4WD）	せいぶ 1
救急車（高規格救急車）	トヨタ	TC-VCH32S （H15年式）	180PS（4WD）	せいぶきゅうきゅう
小型動力ポンプ積載車	日産	KG-SK22MN （H15年式）	79PS（4WD）	せいぶ 2

【出雲消防署】（南部分署）

区分 車両名	メーカー名	型式（年式）	馬力及 放水能力	無線 局呼出 名称
消防車（ポンプ車）	三菱	KK-FG53ED （H12年式）	155PS 2,230ℓ/min（4WD）	なんぶ 1
救急車（高規格救急車）	日産	TC-FPWGE50改 （H16年式）	240PS（4WD）	なんぶきゅうきゅう
救急4号車	トヨタ	KC-KZH138S （H8年式）	130PS（4WD）	いずもきゅうきゅう4
小型動力ポンプ積載車	スズキ	V-DF51V改 （H8年式）	42PS（4WD）	なんぶ 2

【出雲消防署】（斐川出張所）

区分 車両名	メーカー名	型式（年式）	馬力及 放水能力	無線 局呼出 名称
消防車（タンク車）	いすゞ	KC-FRR33D4V改 （H10年式）	210PS 3,016ℓ/min	ひかわ 1
救急1号車（高規格救急車）	トヨタ	TC-VCH32S （H14年式）	180PS	ひかわきゅうきゅう1
救急2号車（高規格救急車）	トヨタ	CBF-TRH226S （H18年式）	150PS	ひかわきゅうきゅう2
救助工作車	三菱ふそう	P-FK416FZ改 Ⅱ型（S60年式）	175PS	ひかわこうさく
小型動力ポンプ積載車	日産	KG-SK22MN （H11年式）	79PS（4WD）	ひかわ 2

【平田消防署】

区分 車両名	メーカー名	型式（年式）	馬力及 放水能力	無線 呼出名称	局称
1号車（ポンプ車）	三菱	KC-FG538D (H10年式)	140PS 2,170ℓ/min	ひらた1	
2号車（ポンプ車）	日産	T-FGY60改 (H2年式)	160PS 2,906ℓ/min	ひらた2	
4号車（タンク車）	日産	KK-LK262EH改 (H13年式)	225PS 2,419ℓ/min	ひらた4	
救助工作車	日野	U-GD3HGAA改 (H4年式)	205PS	ひらたこうさく	
救急1号車（高規格救急車）	トヨタ	GB-VCH38S (H10年式)	180PS	ひらたきゅうきゅう1	
救急2号車（高規格救急車）	トヨタ	TC-VCH38S (H17年式)	180PS	ひらたきゅうきゅう2	
救急3号車	日産	GE-CQGE24改 (H12年式)	166PS	ひらたきゅうきゅう3	
指令車	マツダ	GF-GW8W (H11年式)	120PS	ひらたしれい	
広報1号車	トヨタ	T-RZH112V改 (H4年式)	110PS	ひらたこうほう1	
広報2号車	トヨタ	E-ST190 (H5年式)	125PS	ひらたこうほう2	
防災1号車	スズキ	E-JA22W (H10年式)	64PS	ひらたぼうさい1	
防災2号車	三菱	KK-FE52CE (H12年式)	125PS	ひらたぼうさい2	
消火・通報 訓練指導車	マツダ	TC-SYE4T (H16年式)	100PS		
自動二輪車	ヤマハ	2JL (H11年式)	16PS		

【大社消防署】

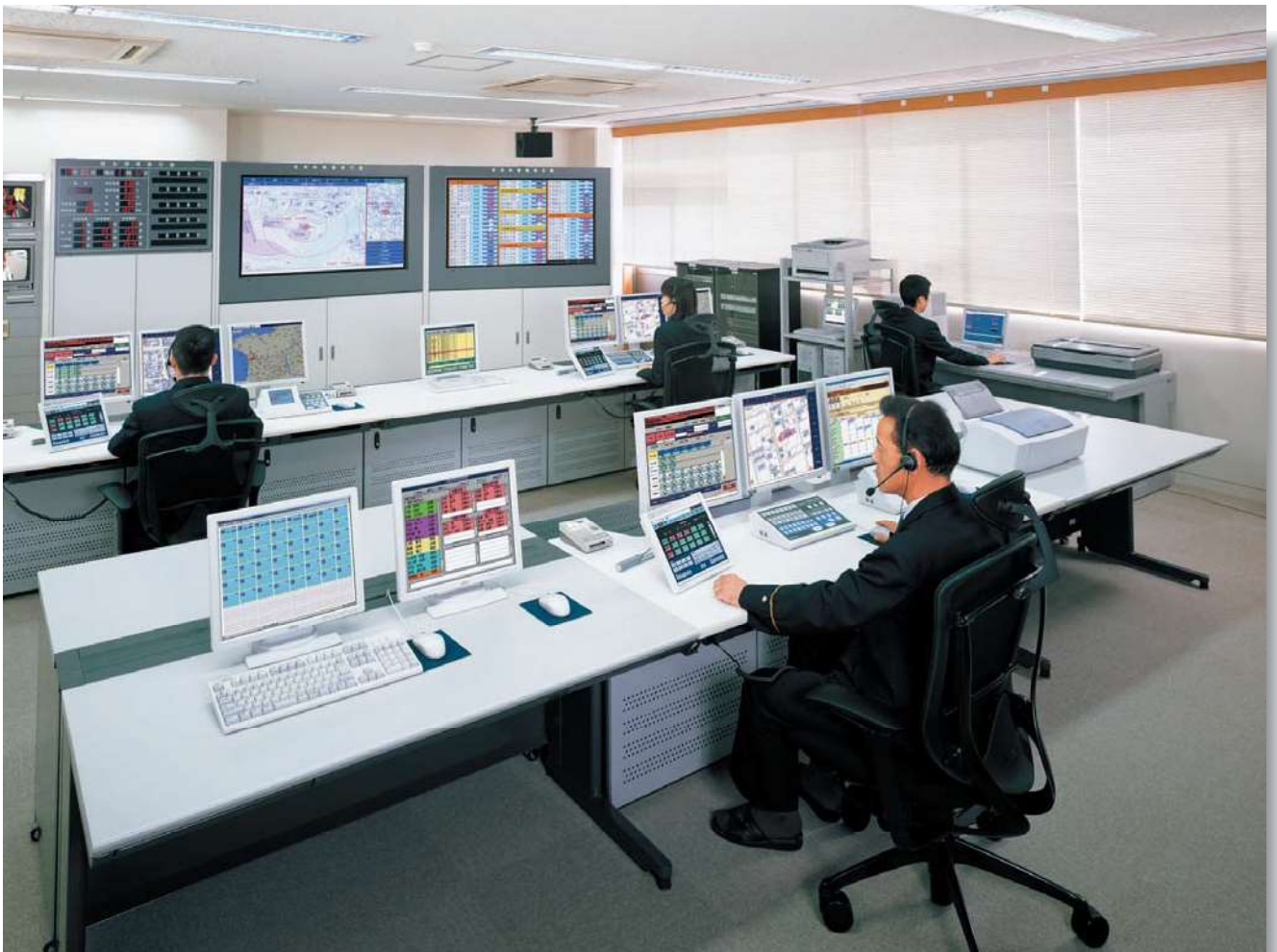
区分 車両名	メーカー名	型式（年式）	馬力及 放水能力	無線 呼出名称	局称
1号車（ポンプ車）	三菱ふそう	KC-FE538B改 (H9年式)	140PS 2,370ℓ/min	たいしゃ1	
2号車（ポンプ車）	三菱ふそう	U-FG337C改 (H5年式)	115PS 2,130ℓ/min (4WD)	たいしゃ2	
4号車（タンク車）	日産	KK-MK252BH (H11年式)	206PS 3,010ℓ/min	たいしゃ4	
救助工作車	三菱ふそう	KK-FK61HGX (H12年式)	165PS	たいしゃこうさく	
救急1号車（高規格救急車）	いすゞ	KC-NPR71LV改 (H8年式)	140PS	たいしゃきゅうきゅう1	
救急2号車（高規格救急車）	日産	GE-FLWGE50 (H13年式)	170PS (4WD)	たいしゃきゅうきゅう2	
指令1号車	トヨタ	T-RZH133S (H4年式)	120PS	たいしゃしれい1	
指令2号車	日産	GF-LR50 (H13年式)	170PS	たいしゃしれい2	
積載車	ダイハツ	LE-S330W (H18年式)	45PS	たいしゃせきさい	
広報車	日産	CBE-VY11 (H17年式)	90PS	たいしゃこうほう	

管内の消防
水利の状況

●消防水利施設数

区分		市町別・地域別	総計	出雲市						斐川町	
				計	出雲	佐田	多伎	湖陵	平田		大社
計			3,506	2,865	1,246	158	177	168	640	476	641
消火栓		φ 200 以上	303	200	147		5	7	18	23	103
		φ 150以上φ200未満	498	349	195	4	16	10	66	58	149
		φ 100以上φ 150未満	882	706	436	12	16	29	93	120	176
		φ 75以上φ 100未満	631	487	104	48	71	15	117	132	144
		φ 75 未 満	77	63	1	1	16	17	17	11	14
		計	2,391	1,805	883	65	124	78	311	344	586
防火槽	公設	40 m ³ 以上	441	406	160	36	39	74	48	49	35
		20m ³ 以上40m ³ 未満	376	361	5	53	9	8	233	53	15
		20 m ³ 未 満	52	52		1	2		30	19	
			計	869	819	165	90	50	82	311	121
私設	40 m ³ 以上	39	39	30				3	6		
	20m ³ 以上40m ³ 未満	104	104	96		1	4	2	1		
	20 m ³ 未 満	53	53	50			2	1			
		計	196	196	176	0	1	6	6	7	0
ブール			50	45	22	3	2	2	12	4	5

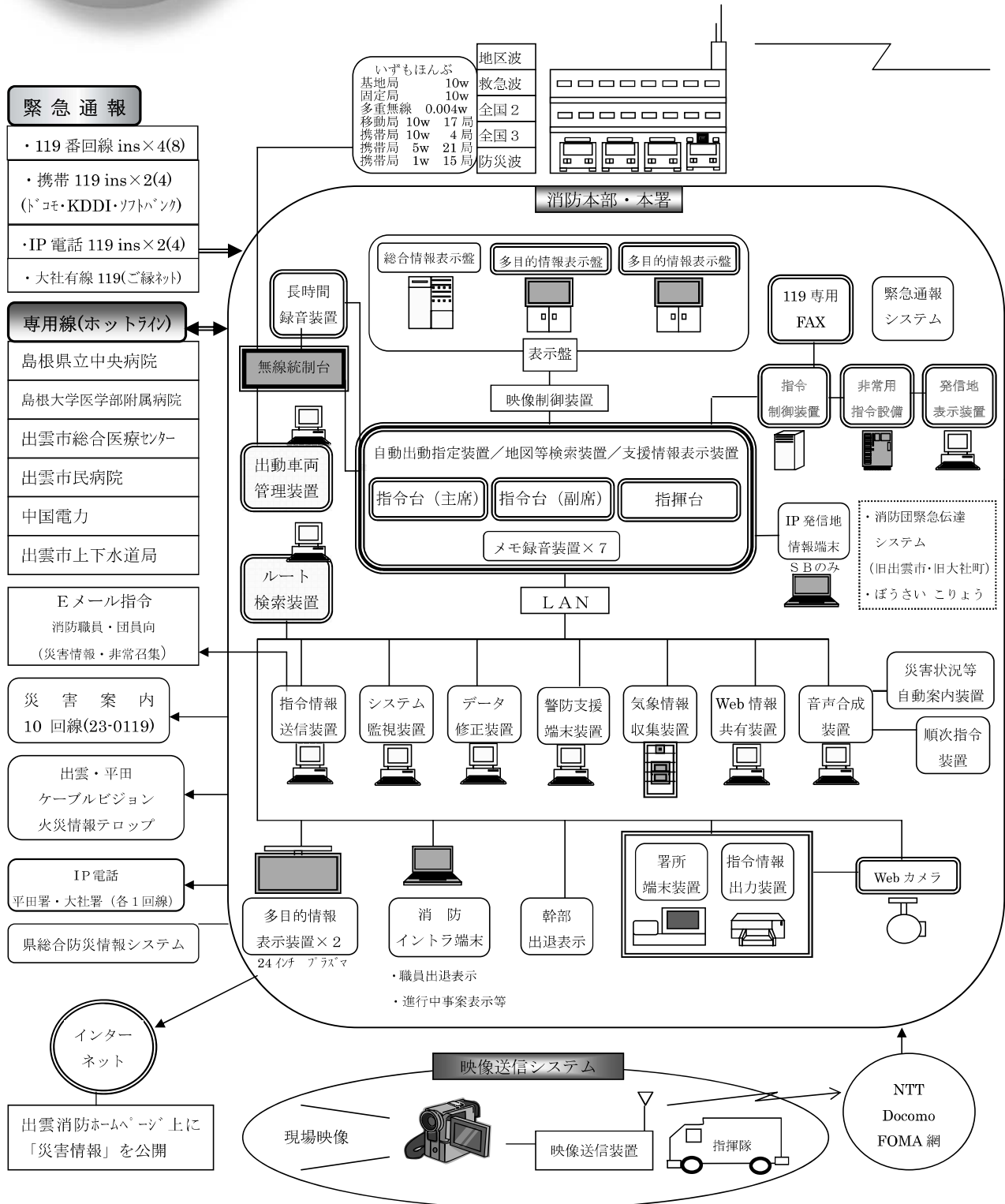
指令編

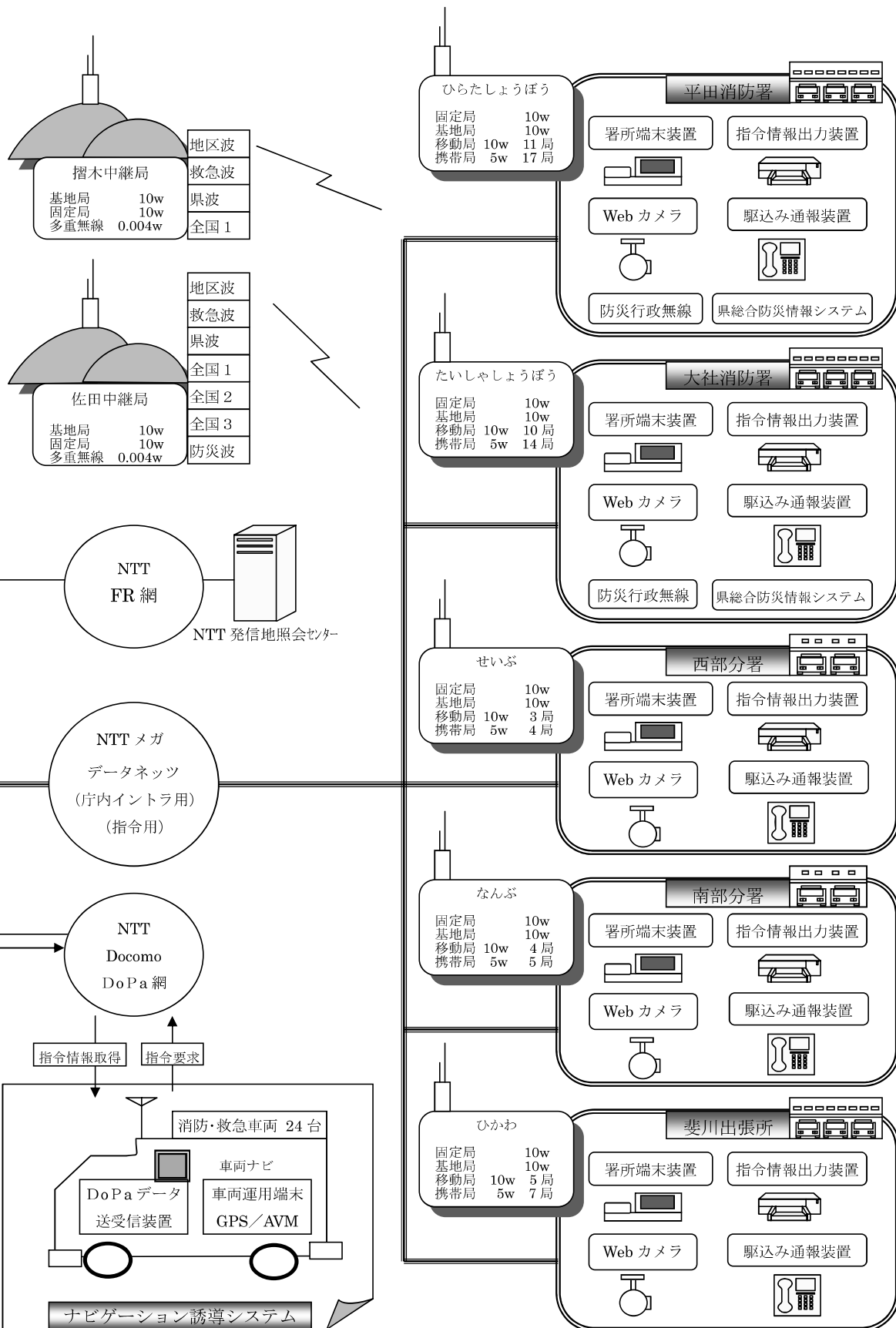


高機能消防通信指令システム

消防通信

●消防通信施設状況





●火災報知専用電話（119番）着信状況【出雲市消防本部】 平成18年（2006）中

着信種別 月別	火災通報	救急通報	災害通報 その他の	訓練通報	問い合わせ 火災・救急	いたすら	問い合わせ 医療機関	か 誤 け っ た	談 苦 情 ・ 届 出 相	応 答 無 し 其 他	試 験	計
1月	9	289	5	36	11	5	3	14	9	19	31	431
2月	20	321	1	72	6	1	1	22	13	22	27	506
3月	5	324	2	92	2	3	6	31	6	23	31	525
4月	10	275		49	6	7	4	25	16	12	26	430
5月	2	270	1	34	8	7	2	27	9	19	33	412
6月		252	3	71	6	3	1	18	8	11	26	399
7月	10	310	5	37	7	2	4	22	3	23	28	451
8月	9	291	1	76	9	4	3	23	17	14	58	505
9月	9	241		86	6	2	2	24	6	5	43	424
10月	6	268	2	58	2	4		23	6	17	183	569
11月	4	293	2	104	4	4	3	42	20	8	88	572
12月	5	323	4	99	16	13	1	29	13	19	45	567
計	89	3,457	26	814	83	55	30	300	126	192	619	5,791

●携帯電話（119番）着信状況【出雲市消防本部】 平成18年（2006）中

着信種別 月別	火災通報	救急通報	災害通報 その他の	訓練通報	問い合わせ 火災・救急	いたすら	問い合わせ 医療機関	か 誤 け っ た	談 苦 情 ・ 届 出 相	応 答 無 し 其 他	試 験	切 途 れ 中 た で	計
1月	8	82	1	2	1	2	5	3	3	2			109
2月	5	53	4	1	3	3	2	11	3	3		1	89
3月	4	83		4	3		3	11	1	2	2	1	114
4月	7	91	1	4	1	1		6	4	2	5		122
5月		63	1	2	1		5	9	4	5	5	1	96
6月	1	75	1	1	1	1	3	10	5	4	1	2	105
7月	5	86	9	1	1		2	10	6	5		1	126
8月	10	74		2	1		4	13	7	2	4		117
9月	5	76	1		2	2	1	17	2			1	107
10月	5	114		1	1	1	3	17	3	3	1		149
11月	1	69	1	2	3		2	10	5	3			96
12月		79	1		1			13	3	3			100
計	51	945	20	20	19	10	30	130	46	34	18	7	1,330

●消防テレホンガイド利用状況（0853-23-0119）【出雲市消防本部】

●火災や、各種災害の情報を住民の皆様提供するため、専用電話による消防テレホンガイド装置を運用しており、その利用状況は次のとおりです。

平成18年（2006）中

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
回数	7,987	5,274	6,921	7,357	4,676	5,158	7,731	5,236	11,039	6,976	5,985	5,163	79,503

●119番受信時の口頭指導実施状況【出雲市消防本部】

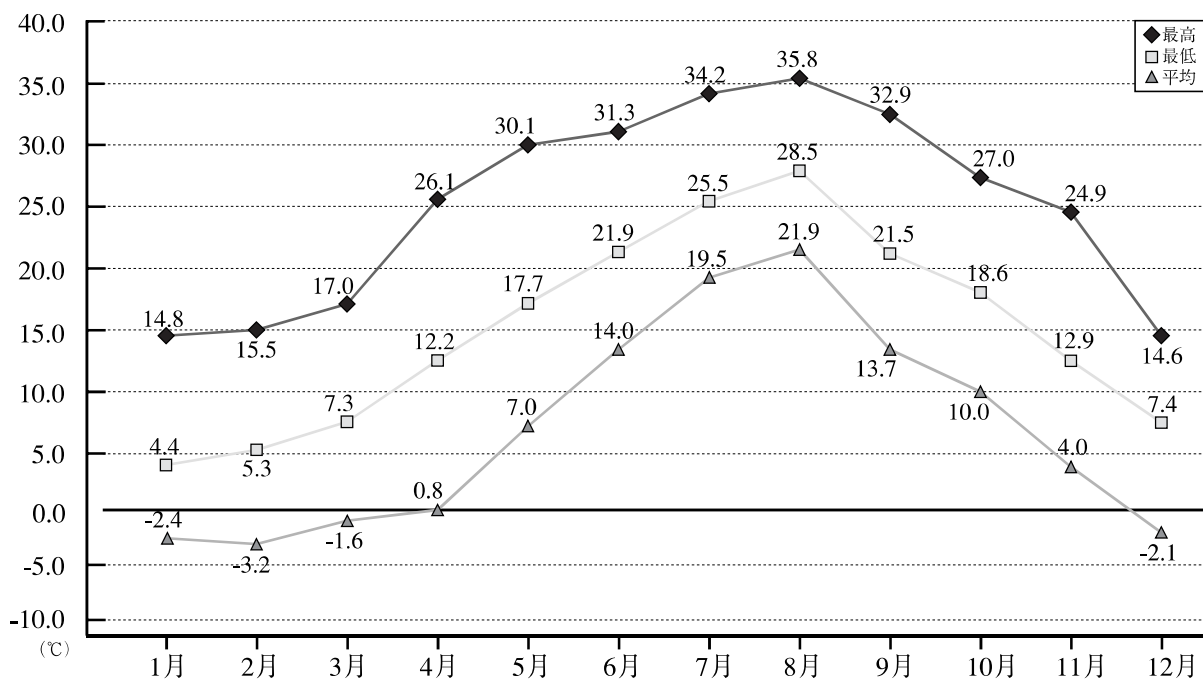
平成18年（2006）中

事故種別 指導内容	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
止血	84	3	15	49	17
固定	2			2	
人工呼吸	4	3		1	
心臓マッサージ	25	19		4	2
心肺蘇生	82	66		8	8
気道確保	60	51	1	8	
保温	7	6		1	
被覆	0				
異物除去	21	8		13	
切断指冷却	2				2
冷却	6	2		3	1
体位	71	63	2	3	3
その他	7	4		2	1
合計	371	225	18	94	34

気象状況

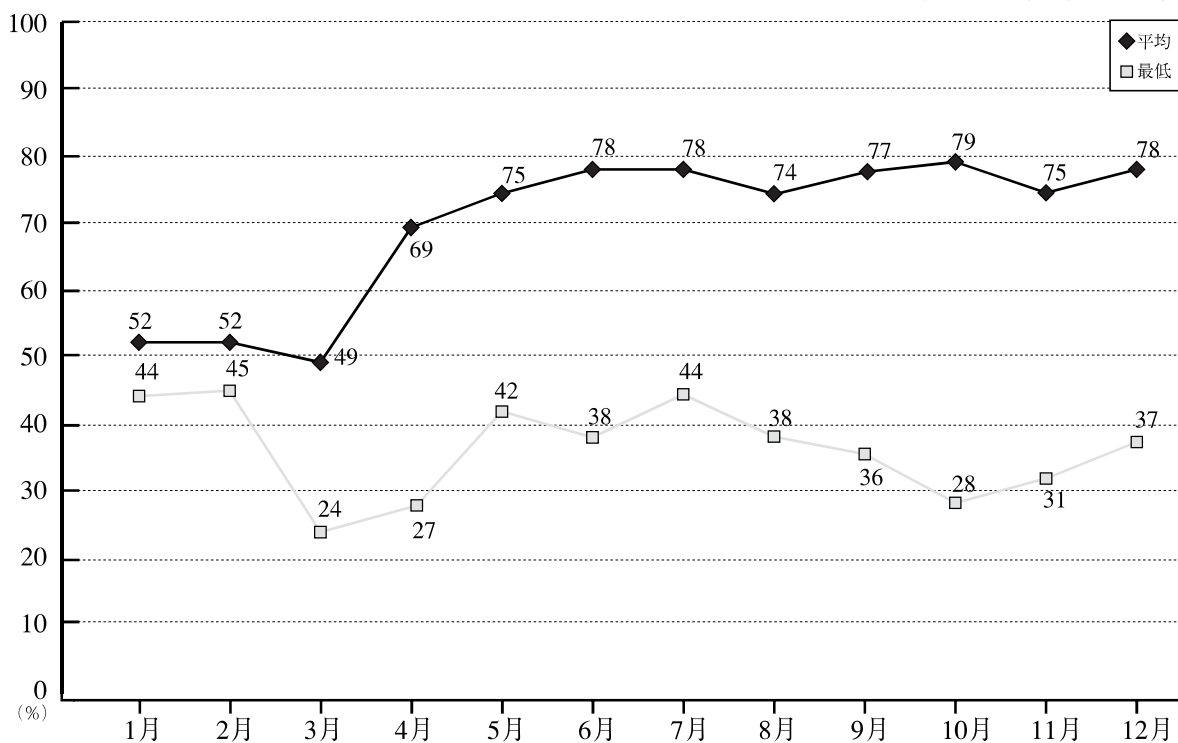
●気温 (°C) 【出雲市消防本部】

平成18年 (2006) 中



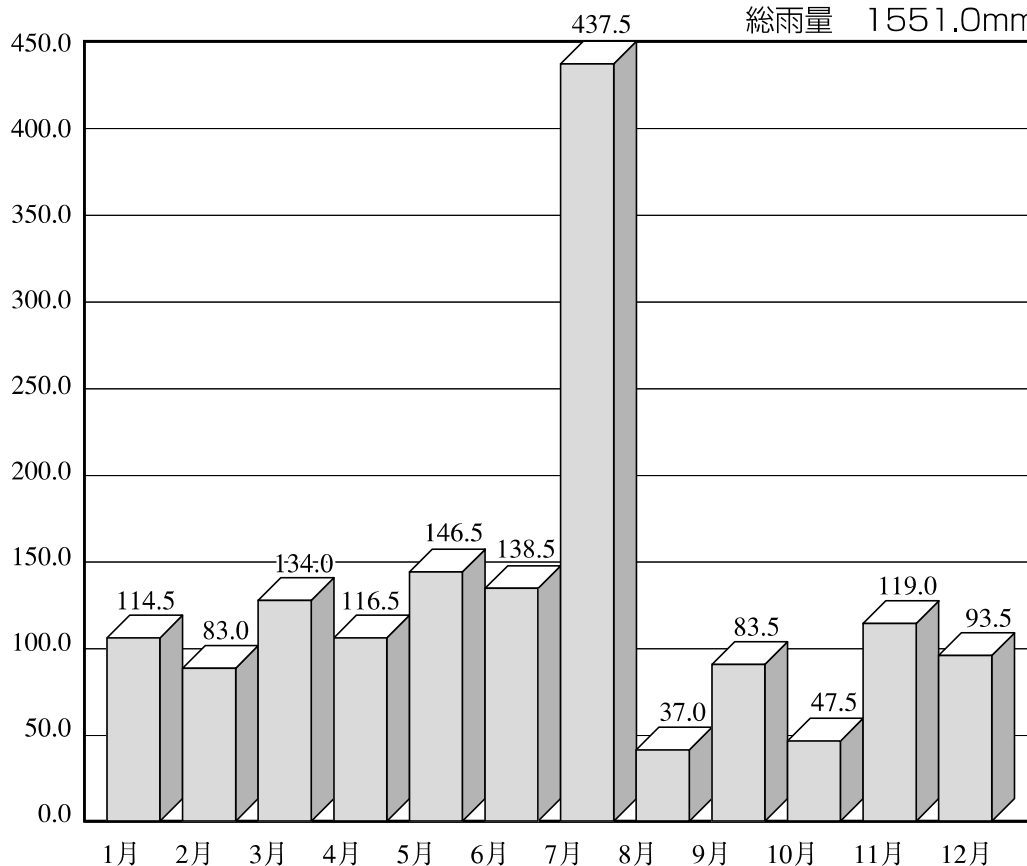
●湿度 (%) 【出雲市消防本部】

平成18年 (2006) 中



●降雨量 (mm) 【出雲市消防本部】

平成18年 (2006) 中
総雨量 1551.0mm



●風向・風速 【出雲市消防本部】

平成18年 (2006) 中

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
最多風向		東	東	北西	西	東	東	西	東	東	東南東	東	東	東
平均風速		2.1	2.6	2.7	4.1	3.7	3.7	3.3	2.8	2.9	2.4	3.1	3.0	3.0
最大風速		19.9	26.8	24.1	25.6	20.1	20.7	21.8	14.0	29.8	19.6	29.6	24.9	
風速10mを超えた日		20	21	26	23	25	18	19	13	20	11	22	16	234

●気象警報等発令状況 【出雲市消防本部】

平成18年 (2006) 中

区分	月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災気象通報		9	1	2		3							2	1
警報	暴風	2				1					1			
	波浪	4				1					1		1	1
	大雨	3						1	2					
	大雪	0												
報	洪水	3						1	2					
計		21	1	2	0	5	0	2	4	0	2	0	3	2

※警報等の解除については回数に含まれない。

消防団



出雲市消防団統合式



第20回全国消防操法大会
出雲市消防団 高松分団
小型ポンプの部 優勝

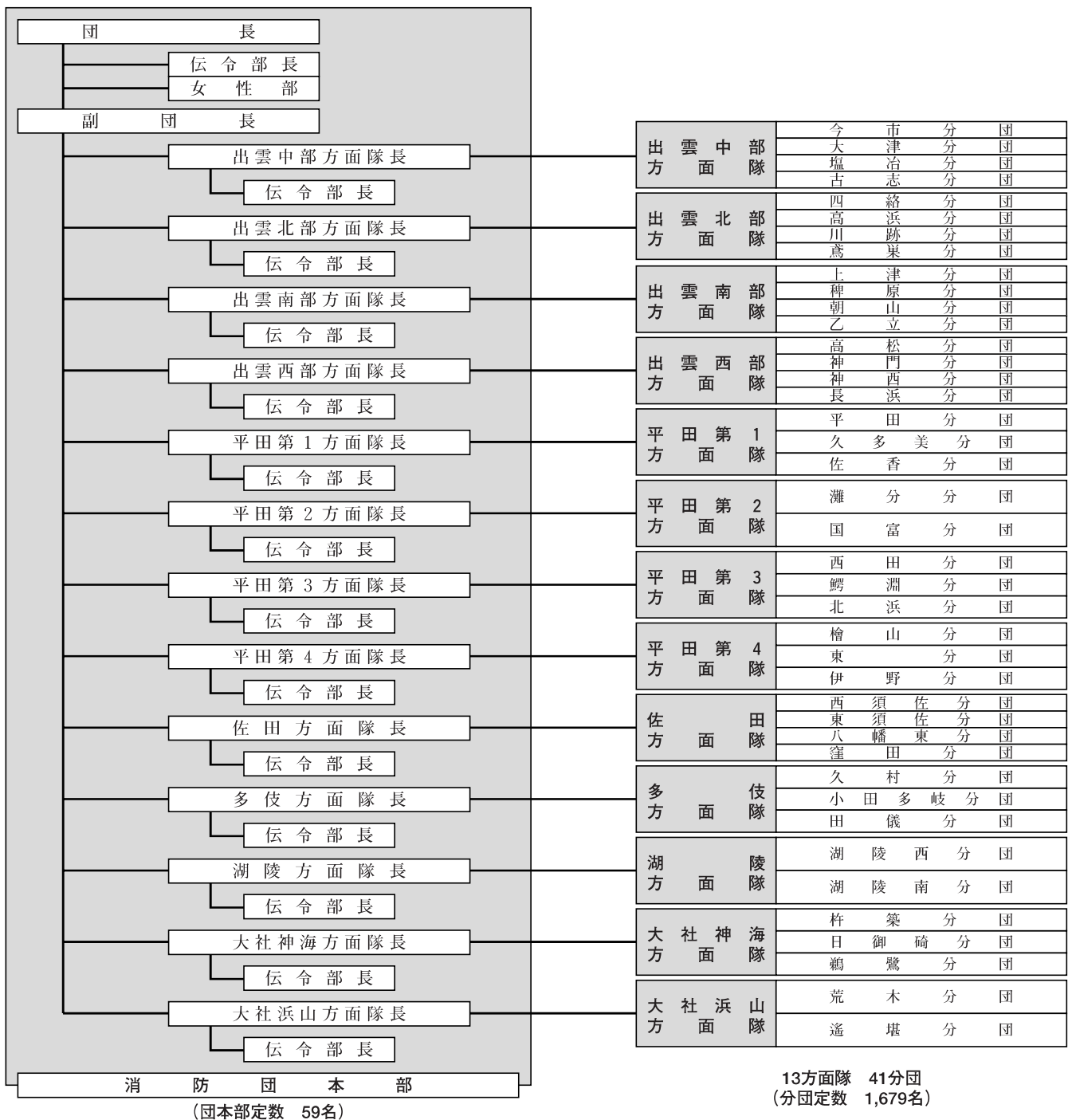


水防工法

出雲市消防団

平成19年4月1日、出雲市消防団連合会（6消防団）を解散し、出雲市消防団が発足した。

●組織図



●階級別団員数

(単位：人)

階級	団長	副団長 方面隊長含む	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
人数	1	18	41	61	143	178	1,251	1,693

●報酬（年額）

(単位：円)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
人数	70,000	50,000	38,000	29,000	25,000	22,000	17,500

●諸手当

(単位：円)

区分	出場手当（1回あたり）		機 関 員 手 当 （ 年 額 ）		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車	小型ポンプ
単価	3,700	3,700	11,500	11,500	11,500

●団員の年齢

(単位：人)

年齢区分	人数
18歳～20歳	4
21歳～25歳	72
26歳～30歳	258
31歳～35歳	463
36歳～40歳	402
41歳～45歳	258
46歳～50歳	131
51歳～55歳	63
56歳～	42
合計	1,693
平均年齢	37歳

●団員の在職年数

(単位：人)

年数	人数
5年未満	719
5年以上10年未満	435
10年以上15年未満	263
15年以上20年未満	145
20年以上25年未満	77
25年以上30年未満	30
30年以上	24
合計	1,693

●消防ポンプ・消防用車両の現況

区分	台数
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	20
小型動力ポンプ付積載車	113
その他の車両	2
合計	137

●団員の職業

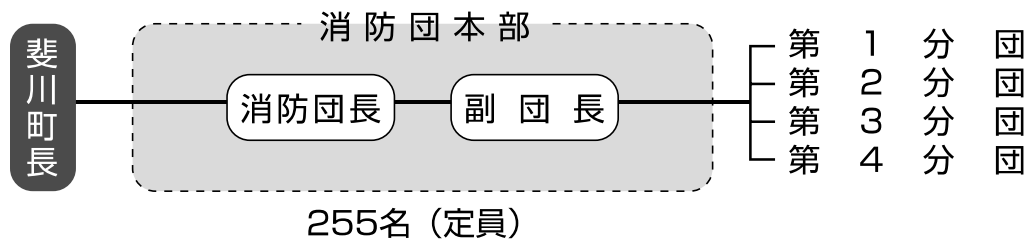
(単位：人)

職業	人数
農業	44
林業	14
漁業	20
鉱業	11
建設業	404
製造業	363
電気・ガス熱供給・水道業	69
運輸通信業	59
卸売・小売業飲食業	164
保険金融業	26
不動産業	2
サービス業	300
公務	148
その他	69
合計	1,693

消防事務受託先（斐川町）

【斐川町消防団】

●組織図



●階級別団員数

（単位：人）

階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員
斐川町	253	1	2	4	8	24	48		166

●報酬（年報）

（単位：円）

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員
斐川町	65,000	50,000	36,000	30,000	25,000	23,000		21,000

●諸手当

（単位：円）

区分	出場手当（1回あたり）		機関員手当（年額）		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車	小型ポンプ
斐川町	3,000	3,000	15,000	15,000	なし

●団員の年齢

(単位：人)

年 齢	斐 川 町
合 計	253
18歳～20歳	1
21歳～25歳	9
26歳～30歳	32
31歳～35歳	76
36歳～40歳	75
41歳～45歳	40
46歳～50歳	12
51歳～55歳	6
56歳～	2
平均年齢	36.5歳

●団員の在職年数

(単位：人)

年 数	斐 川 町
合 計	253
5年未満	191
5年以上10年未満	35
10年以上15年未満	17
15年以上20年未満	4
20年以上25年未満	4
25年以上30年未満	1
30年以上	1

●消防ポンプ・消防用車両の現況

(単位：台)

区 分	斐 川 町
合 計	25
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	
小型動力ポンプ付積載車	22
その他の車両	1

●団員職業別

(単位：人)

区 分	階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	団 員	合 計
農 業					1		2	3	6
漁 業								2	2
鉱 業									0
建 設 業		1		2	2	2	7	25	39
製 造 業					1	9	5	50	65
電気・ガス熱供給・水道業				1			1	2	4
運 輸 業					1	1	4	6	12
卸 売 ・ 小 売 業			1	1	1	3	2	7	14
複 合 サ ー ビ ス 業									0
サ ー ビ ス 業					2	5	17	52	77
公 務						2	7	15	24
そ の 他			1			2	3	4	10
合 計		1	2	4	8	24	48	166	253

島根県水難救済会 出雲救難所



出雲救難所設立総会



救助船による搜索活動



海岸沿いの山林火災
消防署、救済会、合同消火活動実施

島根県水難救済会 出雲救難所

平成19年4月1日、島根県水難救済会平田救難所、大社救難所、多伎救難所を統合、湖陵支所を新設し、新たに島根県水難救済会・出雲救難所を設立した。

出雲救難所・組織図



出雲救難所の
現況

(1) 救難所員の定数及び実員

(単位：人)

階 級	区 分	平田支所	佐香支所	大社支所	日御碕支所	鵜鷺支所	多伎支所	湖陵支所	計
支 所 長		1	1	1	1	1	1	1	7
副 支 所 長		1	1	1	1	1	1	1	7
救 助 長		2	2	2	2	2	1	2	13
部 長		3	3	2	3	3	1	2	17
班 長		2	3	3	7	6	3	2	26
救 助 員		12	16	8	39	23	37	14	149
合 計		21	26	17	53	36	44	22	219

(2) 救難所器具保有状況

階 級	区 分	平田支所	佐香支所	大社支所	日御碕支所	鵜鷺支所	多伎支所	湖陵支所	計
救 命 索 発 射 銃		3	1	5					9
救 命 浮 環		10	2	23	2	8	10		55
救 命 胴 衣		50		25	73	48	17		213
保 安 帽		15	15	17	53	36	10		146
救 助 用 担 架				2	1				3
携 帯 用 拡 声 器		1		5	1	1	1		9
K P ロ ー プ (不 沈)				1	1	1			3
ロ ー プ		2	1	4	5	5			17
洋 上 救 急 バ ッ ク				3					3
ゴ ム ボ ー ト (7 , 8 人 乗)				2					2
ウ ェ ッ ト ス ー ツ		8		7					15
携 帯 用 発 電 器				4					4
ヘ ッ ド ラ ン プ				10			5		15
水 中 ラ イ ト				1					1
強 力 ラ イ ト				1			10		11
プ リ チ ェ ス ブ イ				1					1
地 引 網				1					1
機 足 長 靴				6					6
双 眼 鏡		5	1	4			1		11
オ イ ル フ ェ ン ス				一式 (70M)					一式 (70M)
毛 布				1	4	1			6
救 助 用 縛 帯				4					4
レ サ シ ア ン (成 人)				3					3
排 水 ポ ン プ					1	2			3
ト ー ビ					4				4
ト ラ ン シ ー バ ー		8					2		10
旗		3							3
ス ロ ー バ ッ グ (2 5 M)							3		3

(3) 3ヶ年の災害等出場状況

区分等		年 別	16年	17年	18年
訓 練	件 数		3	2	2
	出 動 人 員		148	156	145
水 難 救 助	件 数		3	7	3
	出 動 人 員		9	62	27
合 計	件 数		6	9	5
	出 動 人 員		157	216	172

(4) 救難所員勤続年数

(単位：人)

年 数	階 級	支所長	副支所長	救助長	部長	班長	救助員	計
5 年 未 満		2	2	5	8	7	59	83
5 年 ~ 9 年		1	1	1	2	9	58	72
10 年 ~ 14 年				1	2	3	5	11
15 年 ~ 19 年		1	1		1	2	8	13
20 年 ~ 24 年			1	3	3	2	7	16
25 年 ~ 29 年			1	2	1	2	4	10
30 年 ~ 34 年		1	1			1	4	7
35 年 ~ 39 年		1		1			2	4
40 年 以 上		1					2	3
合 計		7	7	13	17	26	149	219

(5) 救難所員年齢調

(単位：人)

年 齢	階 級	支所長	副支所長	救助長	部長	班長	救助員	計
20 歳 未 満								0
20 歳 ~ 24 歳								0
25 歳 ~ 29 歳							4	4
30 歳 ~ 34 歳						1	10	11
35 歳 ~ 39 歳						6	18	24
40 歳 ~ 44 歳				2	3	3	6	14
45 歳 ~ 49 歳		1	1		3	2	12	19
50 歳 ~ 54 歳				4	1	4	9	18
55 歳 ~ 60 歳		1	2	5	4	4	27	43
60 歳 以 上		5	4	2	6	6	63	86
合 計		7	7	13	17	26	149	219